

第 2 編

A term を活用しよう - 機能編 -

- | | |
|---------------|-----|
| 1 . さまざまな電話機能 | 86 |
| 2 . さまざまな通信機能 | 135 |

1. さまざまな電話機能

Atermを使用するとさまざまな電話の機能が利用できます。

電話機能にはAtermの設定のみで使えるものと、INSネット64の付加サービスの契約が別途必要なものがあります。付加サービスは、通話料金の他に月額料金がかかります。



Atermの機能またはINSネット64の基本サービスで、通話料金以外の課金はありません。



INSネット64の付加サービスで、表に書かれている付加サービスの契約と月額料金が必要です。

目的	機能名	必要な付加サービスの契約	参照ページ	
電話をかける	短縮ダイヤルで電話をかける	短縮ダイヤル	¥0 なし	P.91
	自分の電話番号を相手に知らせる	発信者番号通知	¥0 なし	P.92
	相手に知らせる電話番号を指定する	発信者番号指定	¥0 なし	P.94
	内線で話す	内線通話	¥0 なし	P.95
	三人で同時に話す	三者通話	¥ フレックスホン (三者通話)	P.96
		疑似三者通話	¥0 なし	
	受話音量を変える	受話音量調節	¥0 なし	P.99
	リモートステーションからモデム通信する	デュアルリンクワイヤレス通信	¥0 なし	P.100
	かけてきた相手の電話番号を見る	着信履歴表示	¥ INSナンバー・ディスプレイ	P.101
	かけてきた相手に電話をかけ直す	着信履歴先発信		
電話を受ける	着信するアナログポートに優先順位をつける	優先着信ポート指定	¥0 なし	P.103
	話し中に別の電話を受ける	INSキャッチホン	¥ フレックスホン (INSキャッチホン)	P.104
		疑似キャッチホン	¥0 なし	
	受ける電話番号を特定する	識別着信	¥ INSナンバー・ディスプレイ	P.107
	特定の電話番号の呼出音を変える	識別リングング	¥ INSなりわけサービス INSナンバー・ディスプレイ	P.108
	話し中にかかってきた特定の電話だけを受ける	INSなりわけ選択キャッチホン	¥ INSなりわけサービス (選択キャッチホン)	P.109
		疑似選択キャッチホン	¥ INSナンバー・ディスプレイ	
	特定の電話機だけに着信させる	マイプライベート着信	¥ INSナンバー・ディスプレイ	P.110
	受けたくない電話番号からの着信を拒否する	迷惑電話防止	¥ INSナンバー・ディスプレイ	P.111
	モデム・ダイヤルイン機能を利用する	モデム・ダイヤルイン	¥ ダイヤルインサービス または・ナンバー	P.112
	アナログ・ダイヤルイン機能を利用する	アナログ・ダイヤルイン	¥ ダイヤルインサービス または・ナンバー	P.113

	目的	機能名	必要な付加サービスの契約	参照ページ
電話を転送する	内線電話へ転送する	内線転送	なし	P.114
	別の電話番号へ転送する	着信転送	フレックスホン（着信転送）	P.115
		疑似着信転送	なし	
	電話中に別の電話番号へ転送する	通信中転送	フレックスホン（通信中転送）	P.116
	特定の電話を別の電話番号へ転送する	識別着信転送	INSなりわけサービス	P.117
疑似識別着信転送		INSナンバー・ディスプレイ		
おでかけ/おやすみになる時刻	電話機の呼出音を鳴らさない	おやすみモード	なし	P.118
	別の電話番号へ転送する	着信転送	フレックスホン（着信転送）	P.120
		疑似着信転送	なし	
	INSボイスワープを使って電話を転送する	INSボイスワープ転送モード	INSボイスワープ	P.121
	呼出音を鳴らさずにボタンを点滅させる	フラッシュモード	なし	P.123
INSネット6.4付加サービスを利用するとき	i・ナンバーを利用する	i・ナンバー	i・ナンバー	P.124
	ダイヤルインサービスを利用する	ダイヤルインサービス	ダイヤルインサービス	P.125
	INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトを利用する	INSボイスワープ	INSボイスワープ	P.127
		INSボイスワープ・セレクト	INSボイスワープ・セレクト	
	フレックスホンサービスを利用する	INSキャッチホン	フレックスホン（INSキャッチホン）	P.128
		通信中転送	フレックスホン（通信中転送）	
		着信転送	フレックスホン（着信転送）	
		三者通話	フレックスホン（三者通話）	
	INSなりわけサービスを利用する	INSなりわけサービス	INSなりわけサービス	P.129
	INSナンバー・ディスプレイ/INSナンバー・リクエストを利用する	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイ	P.129
		INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイ INSナンバー・リクエスト	
	キャッチホン・ディスプレイを利用する	キャッチホン・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイ	P.130
サブアドレスで特定の電話機に着信する	サブアドレス	なし	P.132	
HLCが一致する相手と通信する	HLC設定	なし	P.134	



パソコンまたは電話機で設定が必要な場合は、次のマークでそれぞれの手順または参照ページを示します。

- Windows98/Windows95/WindowsNT4.0の設定:
- Macintoshの設定:
- 電話機の設定:

1-1 . PHS を使うとき

AtermIW50/Dにお手持ちのPHSを増設登録(ID登録)してAtermのコードレス子機として使うことができます。PHSをAtermと組み合わせて使用すると、電話の発信・着信のほかには次の機能が利用できます。

短縮ダイヤル発信
プッシュホンサービス(トーン信号の送出)
PIAFS32k/64kデータ通信
サブアドレス付き発信

増設登録については、第1編「1-2. お使いになる前に」の「子機としてリモートステーション、PHSを使うには」(P.25)を参照してください。



すべてのPHSで上記機能が利用できるわけではありません。利用できる機能は、PHSにより異なります。
PHS公衆モードで利用できる留守番電話サービスや文字メッセージサービスなどのネットワークサービスは利用できません。
接続できる機種については、ホームページ「AtermStation」(<http://aterm.cplaza.ne.jp>) またはFAX情報サービス(第4編「2-1. Atermについてのお問い合わせ」 P.239)で確認できます。ホームページでは、順次確認できた機種を紹介しています。



PHSのバッテリーを十分に充電してからご使用ください。

PHSの登録

増設登録(ID登録)

PHSをAtermの子機として使うには、PHSとAtermの両方に増設登録(ID登録 有料)が必要です。増設登録は、お近くのNECサービスステーション(P.245)またはPCクリーンスポット(P.243) お買い上げの販売店にご相談ください。

モード設定

Atermに増設登録したPHSの待ち受けモードを「オフィスモード」(構内モード)に設定します。オフィスモードを含むデュアルモードやオートモードでも使用できます。モード設定については、ご使用になるPHSの取扱説明書をご覧ください。



PHSで「フッキング」をするときは (保留) または (通話) ボタンを押します。(P.96) どちらのボタンを押すかは機種によって異なります。
一般的に自営標準2版対応のPHSは (保留)、自営標準3版対応のPHSは (通話) ボタンを押します。詳しくはPHSの取扱説明書を参照してください。

PHS で電話をかける

使い方

- 1 **電源** ボタンを押して電源を入れます。 [PHS ディスプレイ例]
- 2 PHSのディスプレイにオフィスモードの表示とアンテナマークが表示されることを確認します。
- 3 相手先の電話番号を押してから **通話** ボタンを押します。
- 4 相手が出たら話をします。
- 5 **切** ボタンを押して電話を切ります。



アナログポートに接続されている電話機や他のPHSを内線で呼び出す場合は、**#** ***** を押したあとに内線番号を押します。**内線** ボタンは使用できません。内線番号については「内線で話す」(P.95) を参照してください。
PHSでキャッチホンや転送などのフッキング操作をするには、**保留** または **通話** ボタンを押します。

PHS で電話を受ける

使い方

- 1 **電源** ボタンを押して電源を入れ、PHSのディスプレイにオフィスモードの表示とアンテナマークが表示されることを確認しておきます。
- 2 着信音が鳴ったら **通話** ボタンを押して話をします。
- 3 **切** ボタンを押して電話を切ります。





PHS のアンテナマークが表示されないときは、次の点を確認してください。
Aterm の電源が入っていますか？
増設登録 (ID 登録) はお済みですか？
PHSの待ち受けモードが「オフィスモード」(構内モード) に設定されていますか？
Aterm と PHS の距離が離れすぎていませんか？
PHS のバッテリーは充分ありますか？
無線チャンネルは空いていますか？(他のPHSやリモートステーションを使用している場合)


1-2 . 電話をかけるとき

電話をかける


使い方

- ① 電話機の受話器を上げます。
受話器から「ツー」という発音音が聞こえ、液晶ディスプレイにアナログポート名(、)が表示されます。


[Aterm 液晶ディスプレイ]


1 月 1 日 0 : 0 0

例 アナログ A ポートに接続した電話機の受話器を上げた場合

- ② 相手先の電話番号をダイヤルし、最後に  を押します。

例          


アナログ[®] A ハッシン
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8


- ③ 通話します。


- ④ 受話器を置きます。

アナログ[®] A セツタ[™] ン
0 1 6 1 0 円

切断理由 通話料金
(016 は正常切断)
(P.315)



ダイヤル後に  を押さないと、ダイヤル桁間タイマが働いて 5 秒後 (初期値) に自動的に電話がかかります。(Windows P.175、Macintosh P.196、電話機 P.206)

AtermIW50/D を電話機の近くでお使いになると、通話時にノイズが発生する場合があります。その場合は、Aterm を電話から少し離して設置してください。
チケット予約や伝言ダイヤルなど  を含む電話番号に電話する場合は、# 発信を「使用しない」に設定します。(Windows P.176、Macintosh P.191、電話機 P.206)

短縮ダイヤルで電話をかける

短縮ダイヤル

Aterm に電話番号を 10 個まで登録できます。登録した電話番号は短縮ダイヤル番号 (0 ~ 9) で電話をかけることができます。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

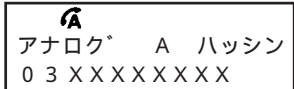
- 1 受話器を上げます。
PHS (通話) ボタンを押します。
「ツ～」という発信音が聞こえます。

[Aterm 液晶ディスプレイ]



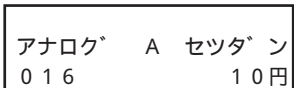
は PHS からの発信時は表示されません。

- 2 * を押したあと、かけたい電話番号の登録されている短縮ダイヤル番号 0 ~ 9 を押します。



PHS からの発信時は表示されません。

- 3 通話が終わったら受話器を置きます。
PHS (切) ボタンを押します。



PHS からの発信時は表示されません。

設定

電話番号およびサブアドレスを登録します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

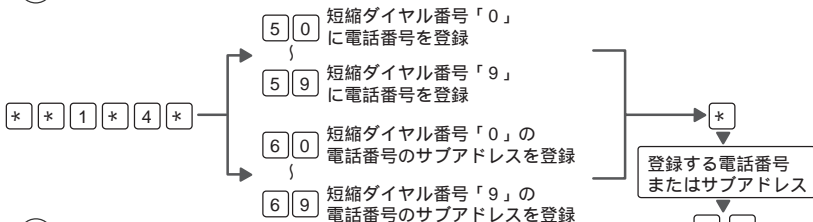
P.175

Macintosh

P.193



- 1 受話器を上げる
- 2 下記の手順で操作する



- 3 受話器を置く

自分の電話番号を相手に知らせる

発信者番号通知

自分の電話番号（契約者回線番号またはダイヤルイン番号）を相手に通知します。



付加サービスの契約は必要ありません。

INS ネット 64 の契約内容、Aterm の設定、ダイヤル時の 184/186 の付加によって、相手に通知する、しないを選択することができます。

INS ネット 64 の契約

INS ネット 64 契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」か「通常非通知（回線ごと非通知）」かを選択します。

Aterm の設定

Aterm の設定で「通知しない」、「通知する」、「INS ネット 64 申し込み内容に従う」の選択をします。

184・186 の付加

電話番号の前に **1 8 4** を付けると発信者番号を通知しません。電話番号の前に **1 8 6** を付加すると発信者番号を通知します。

INS ネット 64 の契約内容、Aterm の設定の組み合わせによる通知 / 非通知

INS ネット 64 の契約	Aterm の設定		INS ネット 64 の契約内容に従う（初期値）
	通知しない	通知する	
通常通知（通話ごと非通知）	非通知	通知	通知
通常非通知（回線ごと非通知）	非通知	通知	非通知

INS ネット 64 の契約時に「常時通知拒否」を契約した場合は、すべて非通知になります。（184/186 は使えません。）

設定

パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

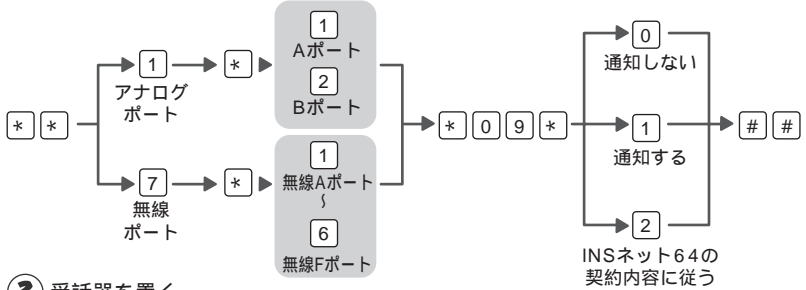
P.174

Macintosh

P.197



- ① 受話器を上げる
- ② 下記の手順で操作する



通知する電話番号は発信者番号指定 (P.94) で設定します。設定していないときは契約者回線番号が通知されます。

相手に知らせる電話番号を指定する

発信者番号指定

発信時に相手に知らせる電話番号を指定します。ポートごとに契約者回線番号やi・ナンバー/ダイヤルイン番号かを指定します。



付加サービスの契約は必要ありません。

設定

パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.183

Macintosh

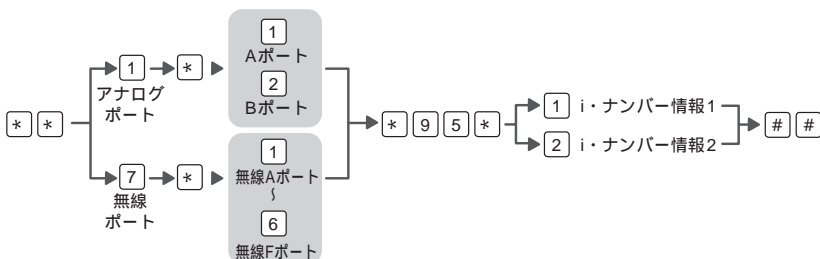
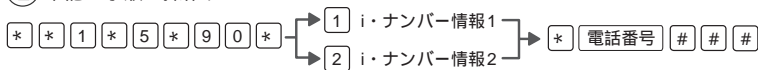
P.197

i・ナンバーを契約の場合



① 受話器を上げる

② 下記の手順で操作する



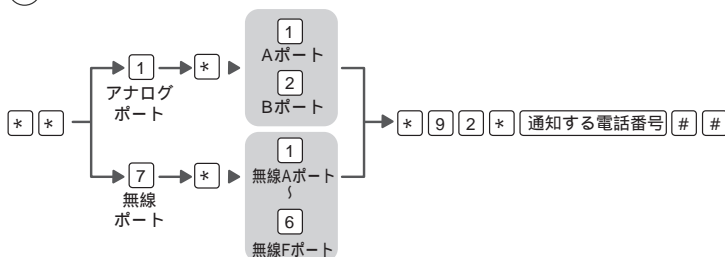
③ 受話器を置く

ダイヤルインサービスを契約の場合



① 受話器を上げる

② 下記の手順で操作する



③ 受話器を置く

内線で話す

内線通話

Atermのアナログポートや無線ポート間で内線通話をすることができます。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- 1 受話器を上げます。
PHS (通話) ボタンを押します。
- 2 [#] [*] を押したあと、呼び出す電話機の番号を押します。

[1]	アナログ A ポート
[2]	アナログ B ポート
[9] [1]	無線 A ポート
[9] [2]	無線 B ポート
[9] [3]	無線 C ポート
[9] [4]	無線 D ポート
[9] [5]	無線 E ポート
[9] [6]	無線 F ポート
- 3 呼び出された電話機の呼出音が鳴り、受話器を上げる (PHS (通話) ボタンを押す) と内線通話できます。
- 4 通話が終わったら受話器を置きます。
PHS (切) ボタンを押します。



お知らせ

INS ネット 64 に接続していなくても、内線通話をすることができます。停電時は通話できません。

内線通話中に外線の着信があると「ブップ」と音がして着信を知らせます。フッキングをする (PHS (保留) または (通話) ボタンを押す) と、内線を切って外線と通話できます。

ダイヤル後すぐに発信させるときは内線呼出番号の後に [#] を押します。

PHS には通常 (内線) ボタンがありますが、Aterm の無線ポートに増設登録した PHS から内線通話するときには (内線) ボタンを使うことはできません。

AtermIW60 をリモートステーションとして使用したときは、そのアナログポートに接続されている 2 台の電話機を呼び分けることはできません。2 台の電話機が同時に呼び出されます。



お願い

PHS からの発信でディスプレイで相手番号を確認してから発信する場合は、①と②を逆にしてください。このとき、すぐに発信させるための [#] は押さないでください。正しく接続できません。

三人で同時に話す

外線通話中に、もう一人を呼び出して相手を切り替えて通話(切替モード)したり、三人同時に通話(ミキシングモード)をすることができます。三者通話には次の2種類があります。

三者通話

INS ネット 64 の付加サービスを利用します。

使用するBチャンネルは1つだけなので、空いているBチャンネルを使用することができます。



INS ネット 64 の「フレックスホン」の「通信中転送機能」と「三者通話機能」を契約します。

疑似三者通話

Aterm の機能です。

B1、B2 チャンネルの両方を使用します。
通話中は内線通話以外の通信はできません。
通信中転送機能は使用できません。
ミキシングモードから切替モードへの切り替えはできません。
通話中にらくらくユーティリティを終了すると、電話機からノイズが聞こえることがあります。
切断時には、最新の発信の通話料金が表示されます。



付加サービスの契約は必要ありません。

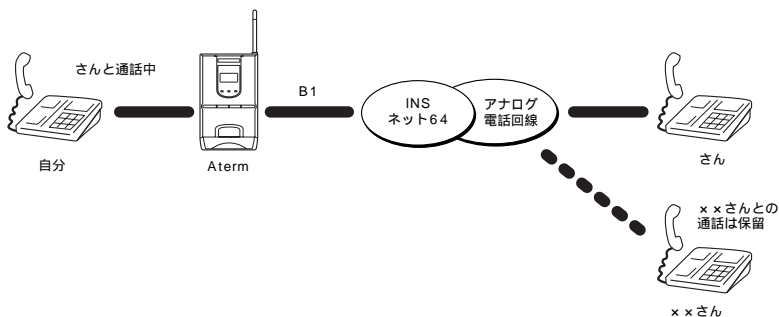
使い方 — 切替モード —

通話中の相手を切り替えて通話します。同時に話ができるのは二人で、一人は保留になります。

- ① さんと通話中にフックを軽く押してすぐはなします。(フッキングといいます。) PHS (保留) または (通話) ボタンを押します。
さんには保留音が流れます。
- ② 「プブッ」という音が聞こえるので、××さんに電話をかけます。
××さんが電話に出ると通話できます。

- ③ もう一度フッキング(PHS **保留** または **通話** ボタンを押す)すると「ブブッ、ブブッ」という音が流れ、その音が止まると **さん**との通話に切り替わります。

さん、**××さん**のどちらかと通話できます。
通話の切り替えは何度でもできます。



- ④ 1秒以上受話器を置くかフックを押すと、現在通話中の相手との電話が切れます。
PHS **切** または **通話** ボタンを押します。

呼出音が鳴ったら受話器を取り、保留していた相手と話をします。

🔄 使い方 — ミキシングモード —

通話中にもう一人を呼び出して三者同時に話をします。

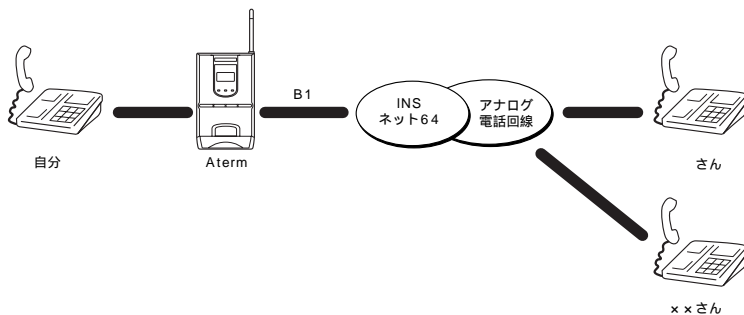
- ① **さん**と通話中にフックを軽く押してすぐはなします。(フッキングといいいます。)
PHS **保留** または **通話** ボタンを押します。

さんには保留音が流れます。

- ② 「ブブブッ」という音が聞こえるので、**××さん**に電話をかけます。

××さんが電話に出ると通話できます。

- ③ 続けて2回(約5秒以内)フッキングすると、**さん**、**××さん**とも通話ができます。
PHS **保留** または **通話** ボタンを押します。



- ④ 1秒以上受話器を置くかフックを押すと、電話が切れます。

PHS (切) ボタンを押します。

切替モードとミキシングモードは2回フッキングすると切り替わります。

設定

三者通話と疑似三者通話を選択します。

パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

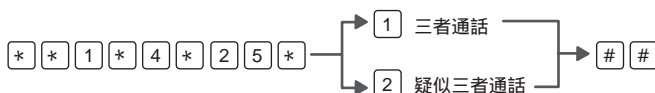
P.177

Macintosh

P.191



- ① 受話器を上げる
- ② 下記の手順で操作する



- ③ 受話器を置く



フッキングは電話機のフックを軽く押してすぐはなしてください。フッキング検出時間より長くフックを押すと、電話が切れることがあります。(「フッキング検出タイム」の設定 Windows P.175、Macintosh P.195、電話機 P.206)

受話音量を変える

通話受話音量調節
通話中の相手の音量を調節します。



付加サービスの契約
は必要ありません。

使い方

- 1 通話中に ***** **#** を押します。

受話音量が次のように切り替わります。

中 大 小 (3段階設定)

設定

受話音量をあらかじめ設定しておくこともできます。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.174

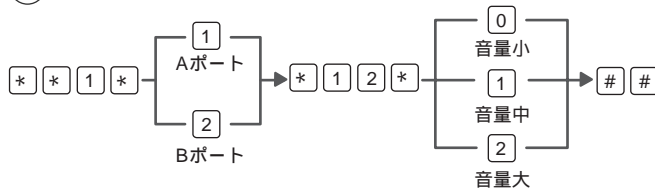
Macintosh

P.68



- 1 受話器を上げる

- 2 下記の手順で操作する



- 3 受話器を置く



お願い

Atermの初期設定は「通話中の受話音量を変更しない(***** **#** 無効)」になっています。らくらくテレホン設定(P.206)またはATコマンド(P.281)で「通話中の受話音量を変更する(***** **#** 有効)」に設定してからお使いください。通話相手の電話機によっては、***** **#** を押すと相手の電話機の受話音量が切り替わることがあります。その場合は、らくらくテレホン設定で「通話中の受話音量を変更しない」(初期値)にもどしてください。(P.206)

リモートステーションからモデム通信する

デュアルリンクワイヤレス通信

リモートステーションのアナログポートからダイヤルする際、最後に **[*]** を付けるとデュアルリンクワイヤレス通信を使用した高品質音声通信ができます。PHS 無線通信でみなし音声のモデム通信をした場合、一般的に 9,600bps ~ 14,400bps の速度までしか通信できませんが、デュアルリンクワイヤレス通信を用いることにより、28,800bps までの高速データモデムが利用できます。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

無線 1 チャンネルを使った通常の発信

[0] **[3]** **[1]** **[2]** **[3]** **[4]** **[5]** **[6]** **[7]** **[8]**

デュアルリンクワイヤレス通信の発信

[0] **[3]** **[1]** **[2]** **[3]** **[4]** **[5]** **[6]** **[7]** **[8]** **[*]**



お願い

デュアルリンクワイヤレス通信中は、他の無線ポートの PHS は利用できません。モデムの通信速度は回線状態や相手の端末の状態により遅くなることがあります。56,000bps モデムは無線品質の影響を受けやすいため、実行速度が極端に低下することがあります。56,000bps モデムを使用する場合は、Aterm 本体のアナログポートに接続してください。

かけてきた相手の電話番号を見る / かけ直す

着信履歴表示

アナログポートに着信した発信者番号、着信時間、応答の有無、応答したアナログポートの情報をAtermの液晶ディスプレイに表示します。最大50件分の着信履歴が記憶でき、51件以上になると古い履歴から削除されます。

着信履歴先発信

着信履歴に記憶されている電話番号に電話をかけます。



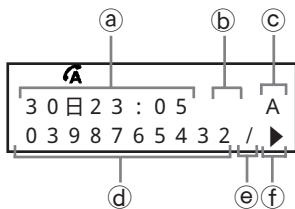
INS ネット64の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約します。

使い方

① 電話機を受話器を上げます。

② * * 5 1 を押します。

最新の着信履歴が表示されます。



⑥ 次頁表示

④ 前頁表示

[Aterm 液晶ディスプレイ]



① 着信日時

② = 応答した x = 応答しなかった

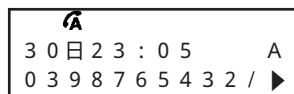
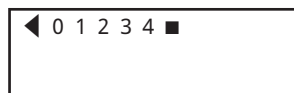
③ 応答したアナログポート名

④ 発信者の電話番号

電話番号が非通知の場合は「ヒツウチ」「コウシュウデンワ」「ヒョウジケンガイ」のいずれかが表示されます。(P.313)

⑤ サブアドレスがあるときのサブアドレスセパレータ

⑥ 次頁があるとき



③ ② または ⑧ を押し、見たい電話番号を表示します。

② 新しい履歴を表示（新しい履歴がない場合は、一番古い履歴を表示）

A
3 1 日 2 1 : 2 0 B
P : ヒツウチ

⑧ 古い履歴を表示（古い履歴がない場合は、一番新しい履歴を表示）

A
3 0 日 2 3 : 0 5 A
0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 / ▶

④ # を押し、表示された電話番号に電話をかけます。

発信しない場合は、# を押さずに受話器を置きます。



着信履歴表示 / 着信履歴先発信はAterm前面のファンクションボタンを使って操作することもできます。(P.272)

着信履歴を消去するには、③ のときに * を押すと表示されていた着信履歴が消去されます。すべての着信履歴を消去するときは、もう一度 * を押します。

Aterm の電源を切ると、着信履歴はすべて消去されます。

1-3. 電話を受けるとき

電話を受ける

使い方

- 1 着信があると呼出音が鳴ります。
- 2 受話器を上げて通話します。
- 3 通話が終わったら受話器を置きます。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

アナログ^o チャクシン
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

アナログ^o A セツダⁿ
0 1 6

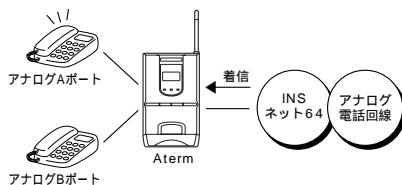
着信するアナログポートに優先順位をつける

優先着信ポート指定

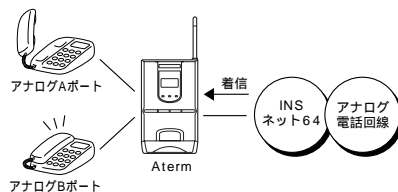
Aterm に接続している電話機に優先順位を付けて呼び出します。



付加サービスの契約は必要ありません。



アナログ A ポートが空いているときは、アナログ A ポートの電話機だけが鳴る



アナログ A ポートが通話中のときは、アナログ B ポートの電話機が鳴る

設定

優先着信するポートを選択します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

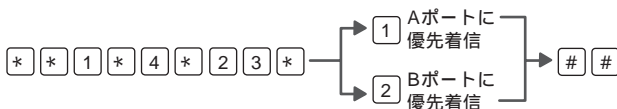
P.176

Macintosh

P.191



- 1 受話器を上げる
- 2 下記の手順で操作する



- 3 受話器を置く



無線ポートから設定することはできません。
無線ポートの電話機に優先順位をつけることはできません。

話し中に別の電話を受ける

話し中にかかってきた別の相手と通話します。通話中だった相手は保留にします。キャッチホンには次の2種類があります。

INS キャッチホン

INS ネット 64 の付加サービスを利用します。

使用する B チャンネルは 1 つだけなので、空いている B チャンネルを使用することができます。



INS ネット 64 の「フレックスホン」の「INS キャッチホン」を契約します。

疑似キャッチホン

Aterm の機能です。

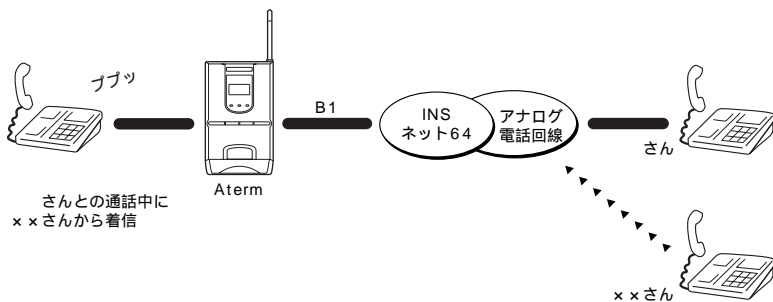
B1、B2 チャンネルの両方を使用します。
通話中は内線通話以外の通信はできません。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

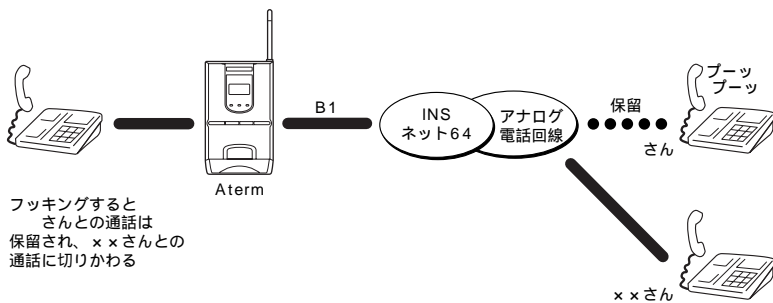
- ① さんと通話中に××さんから着信があると「ブブツ」という音が聞こえます。



- ② 電話機のフックを軽く押してすぐはなします。(フッキングといいます。)
PHS (保留) または (通話) ボタンを押します。



- ③ ××さんと通話します。



- ④ 再度 さんと通話するときには、もう一度フッキングします。
PHS もう一度 (保留) または (通話) ボタンを押します。

Aterm を使えるよ

Aterm を活用しよう
機能編

Aterm を活用しよう
設定編

困ったときには

付録

索引

設定

Atermの疑似キャッチホン機能を使用するか、INSネット64のキャッチホン機能を使用するかを選択します。

パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

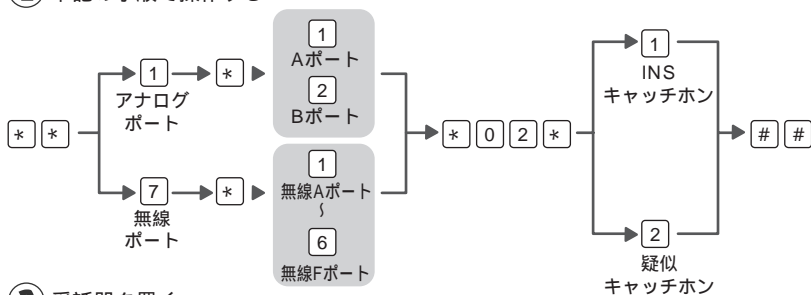
P.174

Macintosh

P.68



- 1 受話器を上げる
- 2 下記の手順で操作する



- 3 受話器を置く



フッキングは電話機のフックを軽く押してすぐ離してください。フッキング検出時間より長くフックを押すと、電話が切れることがあります。

電話機能のあるファクスやモデムをキャッチホンに設定しないでください。通信中に着信があると通信エラーとなります。

受ける電話番号を特定する

特定の相手からの電話のみを着信します。

識別着信

Atermの機能です。識別着信用の電話帳に10件まで電話番号が登録でき、登録された電話番号からの着信のみ受け付けます。



INS ネット 64 の「INS ナンバー・ディスプレイ」の契約をします。契約をしていないと加入電話（アナログ電話回線）からの発信者番号が通知されません。

設定

「識別着信する」に設定し、識別着信する相手の電話番号を電話帳に登録します。パソコンまたは電話機で設定します。

 Windows

P.175

 Macintosh

P.191



P.206



お知らせ

無線ポートから設定することはできません。

特定の電話番号の呼出音を変える

特定の相手からの電話の着信音を変えます。

識別リングング

INS なりわけサービスの契約後に登録した電話番号からの着信音を変えます。それ以外の電話番号からの着信は、通常の着信音です。



INS ネット 64 の「INS なりわけサービス」と「INS ナンバー・ディスプレイ」の契約をします。INS ナンバー・ディスプレイの契約をしていないと加入電話（アナログ電話回線）からの発信者番号が通知されません。

設定

パソコンまたは電話機で設定します。

Windows P.175 **Macintosh** P.195



P.206



無線ポートから設定することはできません。
無線ポートに設定することはできません。

話し中にかかってきた特定の電話だけを受ける

話し中に特定の相手から着信があったときだけ、話し中の相手を保留して新しい相手と通話します。選択キャッチホンには次の2種類があります。

INS なりわけ選択キャッチホン

INS ネット 64 の付加サービスを利用します。話し中にINSなりわけサービスに登録した電話番号からの着信があると、割り込み音を鳴らして電話がかかってきていることを知らせます。



INS ネット 64 の「INS なりわけサービス」の「選択キャッチホン」機能を契約します。

疑似選択キャッチホン

Aterm の機能です。

疑似識別着信用の電話帳に最大 30 件まで電話番号が登録できます。



付加サービスの契約は必要ありません。

設定

識別着信の選択と「通話中着信時のみ使用可能」を設定します。疑似選択キャッチホンを使用する場合は、疑似識別着信用の電話帳に電話番号を登録します。パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.175

Macintosh

P.195



P.208



お知らせ

「識別着信」と「キャッチホン」を同時に利用することはできません。



お願い

INS ナンバー・ディスプレイの契約をしていないと、アナログ電話回線からの着信番号が認識できません。アナログ電話回線からの着信も選択キャッチホンする場合は、INS ナンバー・ディスプレイの契約をしてください。

特定の電話機だけに着信させる

かけてきた相手によって呼び出す電話機を指定します。

マイプライベート着信

INS ネット 64 の付加サービスを利用します。
マイプライベート着信用の電話帳に登録された相手から着信があると、指定した電話機を呼び出します。

マイプライベート着信用の電話帳に最大 30 件まで登録できます。
発信者番号通知をしていない着信を指定することもできます。



INS ネット 64 の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約します。

設定

パソコンまたは電話機で設定します。



P.185



P.193



P.209



「識別着信」を使用しているときは、発信者番号を通知していない着信と呼び分けテーブルに登録していない電話は受け付けることができません。

受けたくない電話番号からの着信を拒否する

いたずら電話や迷惑電話など、受け付けたくない電話番号からの着信を拒否します。

迷惑電話防止

INS ネット 64 の付加サービスを利用します。
迷惑電話番号に登録された相手から着信があったときはAtermが着信を拒否し、呼出音を鳴らさずに切断します。

相手には話し中の音が鳴ります。
発信者番号通知をしていない着信を拒否することもできます。
INS ナンバー・ディスプレイを契約していないと、アナログ電話回線からの発信者番号が通知されません。



INS ネット 64 の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約します。

使い方

かかってきた電話番号を迷惑電話として登録することができます。
迷惑電話を着信したポートの電話機で、かかってきた直後に登録します。

- 1 受話器を上げます。
- 2 * * 5 2 1 # を押します。
- 3 受話器を置きます。
迷惑電話番号として登録されます。

設定

迷惑電話番号の登録をします。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows P.185 **Macintosh** P.193

 P.213

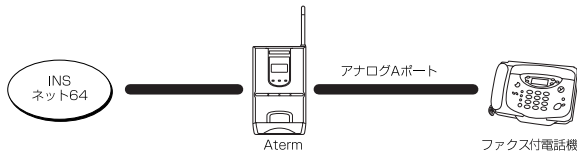
モデム・ダイヤルイン機能を利用する

モデム・ダイヤルイン

着信した電話番号をモデム信号で電話機などに送出します。モデム・ダイヤルイン対応のファクス付電話機のファクス着信と電話着信の呼びわけやホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。



INS ネット64の「ダイヤルインサービス」または「i-ナンバー」を契約します。



Atermの設定 着信番号

- ① 03-XXXX-XX11
- ② 03-XXXX-XX22

内線指定番号

- 設定しない
- 設定しない

モデム・ダイヤルイン対応 ファクス付電話機の設定

- 03-XXXX-XX11で電話機を呼び出す
- 03-XXXX-XX22でファクスを呼び出す

- ① 03-XXXX-XX11 で着信した場合
同番号をモデム信号で送出します。ファクス付電話機の電話機が呼び出されます。
- ② 03-XXXX-XX22 で着信した場合
同番号をモデム信号で送出します。ファクス付電話機のファクスが呼び出されます。
内線指定番号を設定すれば、着信番号を内線指定番号に変換して送出します。

設定

パソコンまたは電話機で設定します。次の手順で設定してください。

- ① 「モデム・ダイヤルインを使用する」を設定します。
- ② 電話番号をアナログポートにそのまま送出するか、内線指定番号に変換して送出するかを設定します。送出する番号は複数の設定が可能です。
- ③ サブアドレスを送出する場合は、「サブアドレスを通知する」に設定します。

Windows P.174

Macintosh P.195

 P.207



INS ナンバー・ディスプレイ契約時は、モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。アナログ・ダイヤルインの使用はできません。
ファクス付電話機でキャッチホン設定をしたときは、通話中にファクスあての着信が入ったときも電話機に「ブッ」という音が聞こえます。
ファクス付電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話機の両方が呼び出されます。

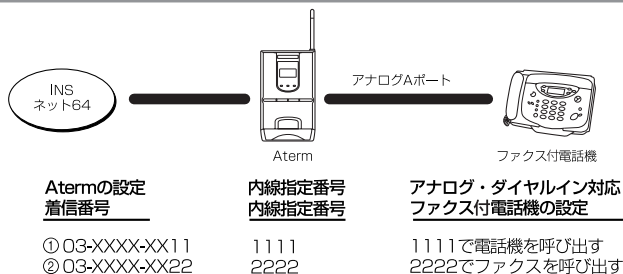
アナログ・ダイヤルイン機能を利用する

アナログ・ダイヤルイン

着信時に着信した電話番号をプッシュボタン信号で電話機などに送ります。アナログ・ダイヤルイン対応のファクス付電話機のファクス着信と電話着信の呼びわけやホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。



INS ネット64の「ダイヤルインサービス」または「i・ナンバー」を契約します。



- ① 03-XXXX-XX11 で着信した場合
1111 を送出します。ファクス付電話機の電話機が呼び出されます。
- ② 03-XXXX-XX22 で着信した場合
2222 を送出します。ファクス付電話機のファクスが呼び出されます。
内線指定番号を設定すれば、着信番号を内線指定番号に変換して送出します。

設定

パソコンまたは電話機で設定します。次の手順で設定してください。

- ① 「アナログ・ダイヤルインを使用する」を設定します。
- ② アナログポートに電話番号を4桁の内線指定番号に変換して送出するように設定します。送出する番号は、最大8個まで設定できます。

Windows

P.174

Macintosh

P.195



P.207



「アナログ・ダイヤルインを使用する」に設定したアナログポートに対しては、内線通話や内線転送はできません。
INS ナンバー・ディスプレイ契約時は、モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。アナログ・ダイヤルインの使用はできません。
「おやすみモード」中、INS なりわけ・疑似なりわけ利用中、ブザー呼出時は、利用できません。

1-4 . 電話を転送するとき

かかってきた電話を内線または別の電話番号へ転送します。

内線電話へ転送する

内線転送

外線がかかってきた電話やファクスを、他のアナログポートや無線ポートに転送することができます。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- ① 外線と通話中に電話機のフックを軽く押してすぐはなします。(フッキングといひます。) PHS (保留) または (通話) ボタンを押します。
「ブブブ」と聞こえ、相手には保留音が流れます。
- ② [#] [*] を押したあと、呼び出すポートの番号を押します。

1	アナログ A ポート
2	アナログ B ポート
9 1	無線 A ポート
9 2	無線 B ポート
9 3	無線 C ポート
9 4	無線 D ポート
9 5	無線 E ポート
9 6	無線 F ポート
- ③ 呼び出された電話機の呼出音が鳴り、呼び出した相手が出たら転送することを伝えて受話器を置きます。または、転送先の呼出音が鳴ったら、受話器を置きます。
- ④ 外線相手と転送先で通話ができます。



同一回線内にバス接続されている別のターミナルアダプタのアナログポートに接続した電話機への転送はできません。

停電時は利用できません。



転送中(転送相手を呼出中)にフッキングすると、転送呼出をやめて外線相手との通話が再開できます。

フッキング後、転送先の呼び出しをしないでそのままにしておくと、外線相手との通話にもどります。



三者通話を利用しているときは、内線転送できません。

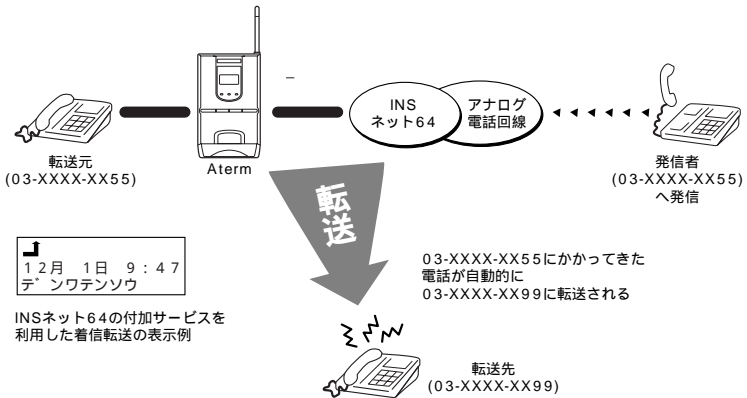
別の電話番号へ転送する

かかってきた電話を呼出音を鳴らさずに、外出先や携帯電話などの登録しておいた電話番号へ自動的に転送します。着信転送には次の2種類があります。

<p>着信転送 INS ネット 64 の付加サービスを利用します。 使用する B チャンネルは 1 つだけなので、空いている B チャンネルを使用することができます。 転送トーキや転送元トーキを流すことができます。</p>	<p> INS ネット 64 の「フレックスホン」の「着信転送機能」を契約します。</p>
<p>疑似着信転送 Aterm の機能です。 B1、B2 チャンネルの両方を使用します。 通話中は内線通話以外の通信はできません。 INS ネット 64 の INS ナンバー・ディスプレイの申込内容が「通常通知」(通話ごと非通知)の場合、転送先には契約者回線番号が通知されます。 転送トーキや転送元トーキは流れません。</p>	<p> 付加サービスの契約は必要ありません。</p>



使い方

- 1 Aterm 前面のでかけるボタン  を押します。
Aterm の液晶ディスプレイに「」のピクトグラムが表示されます。



設定

着信転送の選択と転送元・転送先の電話番号を登録します。パソコンまたは電話機で設定します。

 Windows P.176  Macintosh P.192

 P.209

Aterm を使えるよ

Aterm を活用しよう

Aterm を活用しよう

困ったときには

付録

索引



Atermまでの通話料金は発信者に、Atermから転送先の通話料金はAterm側にかかります。疑似着信転送を使った場合、かかった料金はアナログAポートに蓄積されます。
アナログポートに電話機を接続していなくても利用できます。

電話中に別の電話番号へ転送する

通信中転送

通話中に別の相手呼び出して、電話を転送します。
使用するBチャンネルは1つだけなので、空いているBチャンネルを使用することができます。



INS ネット64の「フレックスホン」の「通信中転送機能」を契約します。

使い方

- 1 通話中にフックを軽く押してすぐはなします。(フッキングといいます。)
PHS (保留) または (通話) ボタンを押します。
- 2 「ププッ」という音が聞こえるので、転送する相手の電話番号をダイヤルします。
通話相手には保留音が流れます。
- 3 転送先の相手と通話します。
- 4 もう一度フッキングします。
PHS もう一度 (保留) または (通話) ボタンを押します。
- 5 「ププッ、ププッ」という音が流れている間に、受話器を置きます。
PHS (切) ボタンを押します。
通話していた相手と転送した相手が通話できます。

設定

アナログポートの設定をします。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.177

Macintosh

P.191



P.208

特定の電話を別の電話番号へ転送する

特定の相手からの電話を、登録しておいた別の電話番号へ転送します。識別着信には次の2種類があります。

識別着信転送

INS ネット 64 の付加サービスを利用します。

使用するBチャンネルは1つだけなので、空いているBチャンネルを使用することができます。



INS ネット 64 の「INS なりわけサービス」を契約します。

疑似識別着信転送

Aterm の機能です。



付加サービスの契約は必要ありません。

設定

1 識別着信を設定します。

パソコンまたは電話機で設定します。



P.175



P.191



P.206

2 着信転送の転送条件と転送元・転送先の電話番号を登録します。

パソコンまたは電話機で設定します。



P.176



P.192




P.209



INS ナンバー・ディスプレイの契約をしていないと、アナログ電話回線からの着信番号が認識できません。アナログ電話回線からの着信も識別着信転送する場合は、INS ナンバー・ディスプレイの契約をしてください。

1-5 . お出かけ / おやすみになるとき

お出かけになるときやおやすみになるときの設定をします。「おやすみモード」「電話着信転送モード」「ボイスワープ転送モード」「フラッシュモード」の4種類があります。いずれも Aterm 前面上部のでかけるボタン  を使います。

電話機の呼出音を鳴らさない

おやすみモード

かかってきた電話の呼出音を鳴らさずに、液晶ディスプレイのアナログポートのピクトグラム (A、B) を点滅表示して知らせます。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方



4つのモードすべてに共通です。

① Aterm 前面の  ボタンを押します。

ランプが点灯し、お出かけ設定モードになります。



でかけるボタンをロックすることができます。でかけるボタンをロックしておくと、あやまってボタンを押してお出かけ設定モードになってしまうことを防ぎます。(4つのモードすべてに共通です。)

Aterm 前面の (SELECT) ボタンを押しながら  ボタンを押すと、でかけるボタンがロックされます。再度 (SELECT) ボタンを押しながら  ボタンを押すと、ロックは解除されます。


[Aterm 液晶ディスプレイ]

テ`カケルホ`タンヲ
ロックシマシタ

テ`カケルホ`タンヲ
ロックカイジ`ヨシマシタ

でかけるボタンをいったん押したあと、すぐには押せないようになっています。数秒間待ってから押してください。

設定

お出かけ設定を「おやすみモード」に設定をします。
おやすみモード中に着信があると、 ボタンが点滅した状態になります。
操作を途中でやめるときは (MENU) ボタンを押します。

- 1 Aterm 前面の (MENU) ボタンを押します。
[Aterm 液晶ディスプレイ]
1 : チャクシンリレキ
- 2 (SELECT) ボタンを 2 回押します。
3 : オテ` カケモード
- 3 (ENTER) ボタンを押します。
オテ` カケモード` ノ
セツテイテ` ス
↓ 5 秒後
1 : オヤスミモード`
- 4 (ENTER) ボタンを押します。
おやすみモードに設定されます。
オヤスミモード` ニ
セツテイシマシタ



着信中に着信している電話機を上げると、通話することができます。
おやすみモード中は、無線ポートには着信しません。
おやすみモード中は、アナログポートに接続した電話機の留守番機能は使用できません。
おやすみモード中にアナログポートに接続したコードレス電話機の子機で着信応答する場合は、子機の (通話) や (外線) ボタンを押してから通話してください。ボタンを押さないと、機種によっては途中で通話が切れることがあります。
「ナンバー・ディスプレイを使用する」(P.129)の設定になっているアナログポートに着信があった場合、接続している電話機によっては発信者番号表示をしないものがあります。
「モデム・ダイヤルインを使用する」(P.112)の設定になっているアナログポートに着信があった場合、呼出音が鳴らないために着信している電話機が分からないことがあります。
「アナログ・ダイヤルインを使用する」(P.113)の設定になっているアナログポートに着信があった場合、電話機への着信はおこなわれません。

別の電話番号へ転送する

かかってきた電話を、呼出音を鳴らさずに登録しておいた電話番号へ自動的に転送します。「着信転送」または「疑似着信転送」機能を使用します。(P.115)

設定

お出かけ設定を「電話着信転送モード」に設定します。
あらかじめ着信転送の設定をしておきます。(P.115)
操作を途中でやめるときは (MENU) ボタンを押します。

- ① Aterm 前面の (MENU) ボタンを押します。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② (SELECT) ボタンを 2 回押します。

3 : オテ` カケモード

- ③ (ENTER) ボタンを押します。

オテ` カケモード` ノ
セッテイテ` ス



5 秒後

1 : オヤスミモード`

- ④ (SELECT) ボタンを押し、「2 : デンワテンソウスル」を選択します。

2 : テ` ンワテンソウスル

(SELECT) ボタンを押すたびに、「2 : デンワテンソウスル」「3 : ボイスワープ
セテイ」「4 : フラッシュモード」「1 : オヤスミモード」「2 : デンワテン
ソウスル」と変わります。

- ⑤ (ENTER) ボタンを押します。

電話着信転送モードに設定されます。



お知らせ

着信転送の設定がINSネット64の「着信転送」に設定されているときは、「NTTチャクシンテンソウニセッテイシマシタ」を表示されます。

着信転送の設定が「疑似着信転送」に設定されているときは「ギジチャクシンテンソウ」と表示されます。

着信転送の設定が電話番号着信転送(遊遊メール P.150)に設定されているときは「デンワバンゴウヲメールシマス」と表示されます。

着信転送の電話番号が設定されていない場合は、④のときに「バンゴウヲセッテイシテクダサイ」と表示されます。

INS ボイスワープを使って電話を転送する

ボイスワープ転送モード

着信があるとボイスワープ機能で他の電話番号に転送します。

でかけるボタンを押しておく（ボタン点灯）と、Aterm が自動的にボイスワープセンタに電話をかけてサービスを開始します。

でかけるボタン点灯時に再度でかけるボタンを押すと、Aterm が自動的にボイスワープセンタに電話をかけてサービスを停止します。

ボイスワープセンタへの転送開始モードをあらかじめ設定しておきます。（Windows P.177、Macintosh P.194、電話機 P.210）



INS ネット 64 の「INS ボイスワープ」を契約します。

設定

お出かけ設定を「ボイスワープ転送モード」に設定します。
操作を途中でやめるときは (MENU) ボタンを押します。

- ① Aterm 前面の (MENU) ボタンを押します。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② (SELECT) ボタンを 2 回押します。

3 : オテ` カケモード`

- ③ (ENTER) ボタンを押します。

オテ` カケモード` ノ
セッテイテ` ス



- ④ (SELECT) ボタンを 2 回押し、「3 : ボイスワープセッテイ」を選択します。

1 : オヤスミモード`

3 : ホ` イスワープ`
セッテイ

(SELECT) ボタンを押すたびに、「2: デンワテンソウスル」「3: ボイスワープセテイ」「4: フラッシュモード」「1: オヤスミモード」「2: デンワテンソウスル」と変わります。

5 (ENTER) ボタンを押します。

ボイスワープ転送モードに設定されます。

ホ` イスワープ°ニ
セッテイシマシタ



INSボイスワープを契約した電話番号を設定していない場合は、4のときに「バンゴウヨセッテイシテクダサイ」と表示されます。

呼出音を鳴らさずにボタンを点滅させる

フラッシュモード

かかってきた電話の呼出音を鳴らさずに、でかけるボタンのランプを点滅させて着信を知らせます。電話がかかってきたときだけランプが点滅します。



付加サービスの契約は必要ありません。

設定

お出かけ設定を「フラッシュモード」に設定します。
操作を途中でやめるときは (MENU) ボタンを押します。

- ① Aterm 前面の (MENU) ボタンを押します。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② (SELECT) ボタンを 2 回押します。

3 : オテ` カケモード`

- ③ (ENTER) ボタンを押します。

オテ` カケモード` ノ
セツテイデ` ス



1 : オヤスミモード`

- ④ (SELECT) ボタンを 3 回押し、「4 : フラッシュモード」を選択します。

4 : フラッシュモード`

(SELECT) ボタンを押すたびに、「2 : デンワテンソウスル」「3 : ボイスワープセツテイ」「4 : フラッシュモード」「1 : オヤスミモード」「2 : デンワテンソウスル」と変わります。

- ⑤ (ENTER) ボタンを押します。
フラッシュモードに設定されます。

フラッシュモード` ニ
セツテイシマシタ



「フラッシュモード」はおやすみ中に着信を受け付けないための機能であり、どのポートへの着信かは液晶ディスプレイに表示しません。着信したポートを識別したい場合は「おやすみモード」に設定してください。

1-6 .INS ネット 64 付加サービスを利用するとき

i・ナンバーを利用する

i・ナンバー

契約者回線番号のほかにもう1つ追加番号を持つことができます。電話機とファクス、家族用と個人用など、2つのアナログポートを呼び分けることができます。



INS ネット 64 の「i・ナンバー」を契約します。

設定

「i・ナンバーを使用する」に設定し、「i・ナンバー情報」の入力と「着信するポート」を指定します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.183

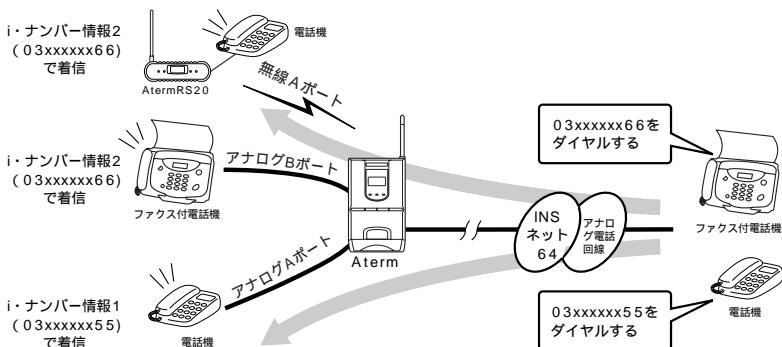
Macintosh

P.65



P.78

	電話番号	着信ポート	接続機器例
i・ナンバー情報1	03xxxxxx55	A	電話機(初期値)
i・ナンバー情報2	03xxxxxx66	B	FAX/モデム
		無線Aポート	AtermRS20に接続した電話機



アナログポートを「使用しない」に設定した場合は、どの着信も受け付けません。3つ以上の電話番号で呼び分けたい場合は、ダイヤルインサービスを利用してください。無線ポートは1つの電話番号に対して1つのポートを呼び分けます。2つ以上呼び分けたい場合はサブアドレスを利用します。(P.132)

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービス

契約者回線番号のほかに複数の番号を持つことができます。Atermでは最大7つのダイヤルイン番号を設定することができるので、契約者回線番号と合わせて8台までの呼び分けができます。

「グローバル着信利用」を契約すると契約者回線番号での着信時は着信番号が通知されないため、すべてのアナログポートと無線ポートが呼び出されますが、Atermの設定により各ポートを個別に呼び出しできるようになります。

ダイヤルイン番号で着信したときは、着信番号が通知されるため、割り当てられたポートごとに個別に呼び出されます。



INS ネット 64 の「ダイヤルインサービス」を契約し、「グローバル着信」を「利用」と申し込みます。ダイヤルイン番号を1つ追加するごとに月額使用料がかかります。

設定

パソコンまたは電話機で設定します。アナログポートと無線ポートでは設定が異なります。

	特徴	契約者回線番号で呼び出す場合の設定	ダイヤルイン番号で呼び出す場合の設定	参照ページ
アナログポート	1つのポートに複数の電話番号を割り当てることができる	「グローバル着信する」に設定 契約者回線番号を入力	「グローバル着信しない」に設定 ダイヤルイン番号を入力	Windows P.57 Macintosh P.67 電話機 P.79
無線ポート	契約者回線番号への着信は、無線ポートを一言呼出するか、特定の1台のみ呼び出すかを選択する	音声通信のグローバル着信時呼出で呼び出すポートを選択 契約者回線番号を入力	ダイヤルイン番号を入力	Windows P.183 Macintosh P.66 電話機 P.77

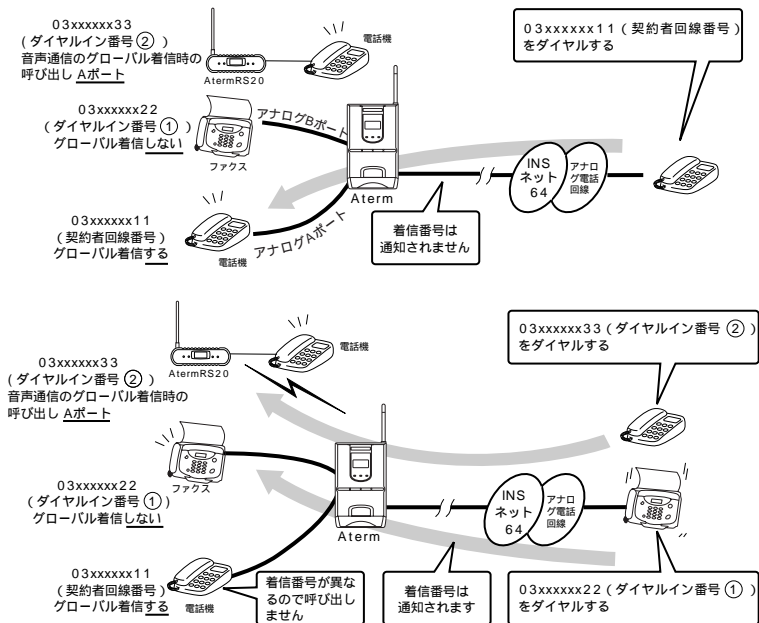
ダイヤルイン設定例

例 1 契約者回線番号(03xxxxxx11)でアナログAポートの電話機のみを呼び出す

ダイヤルイン番号 (03xxxxxx22) でアナログBポートのファクスのみを呼び出す

ダイヤルイン番号 (03xxxxxx33) で無線Aポートのリモートステーション(AtermRS20など)に接続した電話機を呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」
アナログAポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
アナログBポート	03XXXXXXXX22	グローバル着信しない	-
無線Aポート	03XXXXXXXX33	-	無線Aポート
無線B～Fポート	-	-	



例2 契約者回線番号(03xxxxxx11)でアナログA、Bポートの電話機と全無線ポートを呼び出す

ダイヤルイン番号 (03xxxxxx22)でアナログBポートの電話機と無線AポートのPHSを呼び出す

ダイヤルイン番号 (03xxxxxx33)で無線BポートのPHSのみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」
アナログAポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
アナログBポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX22	グローバル着信する	-
無線Aポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX22	-	全端末一斉呼出
無線Bポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX33	-	
無線C～Fポート	-	-	

例3 契約者回線番号(03xxxxxx11)でアナログAポートの電話機と無線Aポートのリモートステーション(AtermRS20など)に接続した電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号 (03xxxxxx22)でアナログBポートの電話機と無線BポートのPHSを呼び出す

ダイヤルイン番号 (03xxxxxx33)で無線CポートのPHSのみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」
アナログAポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
アナログBポート	03XXXXXXXX22	グローバル着信しない	-
無線Aポート	03XXXXXXXX11	-	無線Aポート
無線Bポート	03XXXXXXXX22	-	
無線Cポート	03XXXXXXXX33	-	
無線D～Fポート	-	-	



INS ネット 64 の契約が「グローバル着信利用」となっている場合でも、Aterm の設定が「グローバル着信しない」となっていると Aterm の設定が優先され、契約者回線番号での呼び出しはできません。

個別着信では 1 つの電話番号で 1 つの無線ポートを呼び出すので、同じ電話番号を複数の無線ポートに割り当てないでください。同じ番号を設定すると、A～F の順に設定が優先されます。

INS ボイスワープ / INS ボイスワープ・セレクトを利用する

INS ボイスワープ

かかってきた電話を別の電話番号に転送します。無条件に転送する「無条件転送」、設定した秒数以内に応答しない場合に転送する「無応答時転送」、話中の場合に転送する「話中時転送」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しない場合に転送する「無応答 / 話中時に転送」の 4 種類から転送方法が選択できます。

電話機の故障や電源が切れた状態でも転送できます。

転送先が 5 つまで登録でき、その中から選んで転送できます。

ブッシュ回線や INS ネット 64 の公衆電話などから、転送の開始 / 停止 / 転送先の選択ができます。

ダイヤルインの追加番号ごとに契約できます。



INS ネット 64 の「INS ボイスワープ」を契約します。


INS ボイスワープ・セレクト

INS ボイスワープの機能に加えて、あらかじめ登録した電話番号だけを選んで着信または転送することができます。INS ボイスワープと同じ機能の「全番号転送」、登録した電話番号のみ転送する「登録番号転送」、登録した電話番号を着信してそれ以外を転送する「登録番号着信」、話中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しない場合に転送する「無応答 / 話中時に転送」の 4 種類から選択できます。



INS ネット 64 の「INS ボイスワープ・セレクト」を契約します。

使い方

- 1 Aterm 前面の  ボタンを押します。
ランプが点灯し、お出かけ設定の INS ボイスワープモードになります。

設定

INS ボイスワープを契約した番号を契約電話番号、起動用契約者番号として登録します。パソコンまたは電話機で設定します。転送先の電話番号は、INS ボイスワープまたは、INS ボイスワープ・セレクトの説明書をご覧ください。電話機から登録してください。

 P.177

 P.194


 P.210

フレックスホンサービスを利用する

4 つの機能がセットになったサービスです。4 つの中から必要な機能を選んで契約します。


INS キャッチホン

話し中にかかってきた別の相手と通話します。通話中だった相手は保留にします。

 INS ネット 64 の「フレックスホン」の「INS キャッチホン」を契約します。


通信中転送

通話中に別の相手呼び出して、電話を転送します。

 INS ネット 64 の「フレックスホン」の「通信中転送機能」を契約します。


着信転送

かかってきた電話を呼出音を鳴らさずに、外出先や携帯電話などの登録しておいた電話番号へ自動的に転送します。

 INS ネット 64 の「フレックスホン」の「着信転送機能」を契約します。

三者通話

通話中に、もう一人呼び出して三人で通話することができます。

 INS ネット 64 の「フレックスホン」の「三者通話機能」を契約します。

使い方

それぞれ以下のページを参照してください。

- INS キャッチホン 「話し中に別の電話を受ける」(P.104)
- 通信中転送 「電話中に別の電話番号へ転送する」(P.116)
- 着信転送 「別の電話番号へ転送する」(P.115)
- 三者通話 「三人で同時に話す」(P.96)

INS なりわけサービスを利用する

INS なりわけサービス

特定の相手からの着信を知らせます。登録しておいた電話番号からの着信には「識別着信情報」を付加して着信し、それ以外の電話番号の着信は通常の着信になります。

Aterm の設定により、登録した電話番号からの着信を通常とは異なる呼出音で呼び出すことができます。



INS ネット 64 の「INS なりわけサービス」を契約します。

設定

契約者回線番号、ダイヤルイン追加番号ごとに設定をします。INS なりわけサービスを契約した番号を発信者通知番号として登録します。パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.175

Macintosh

P.194



P.206



お知らせ

登録した電話番号からの着信を通常とは異なる呼出音で呼び出す場合は、識別リング機能を設定します。(P.108)

電話機の設定や機種によっては呼出音が鳴らないこともあります。

INS ナンバー・ディスプレイ / INS ナンバー・リクエストを利用する

INS ナンバー・ディスプレイ

発信者の電話番号を Aterm の液晶ディスプレイや、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示します。番号が通知されないときは、その理由を表示します。INS ナンバー・ディスプレイを利用しないと相手が INS ネット 64 加入者、デジタル携帯電話、PHS のときだけは電話番号が通知されますが、INS ナンバー・ディスプレイを利用するとアナログ電話回線からの発信者電話番号も表示されます。



INS ネット 64 の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約します。

INS ナンバー・リクエスト

電話番号を通知しない相手に「こちらは 　　です。恐れ入りますが、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください」と音声で伝えます。

電話番号が非通知の相手からの着信音は鳴らず、かけた人には通話料金がかかります。



INS ネット 64 の「INS ナンバー・ディスプレイ」のオプション機能「INS ナンバー・リクエスト」を契約します。

設定

「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定します。
サブアドレス表示対応のナンバー・ディスプレイ対応通信機器にサブアドレスも表示させる場合は、「サブアドレスを通知する」に設定します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.174

Macintosh

P.195



P.207



ナンバー・ディスプレイ対応通信機器の機種によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

ナンバー・ディスプレイ対応通信機器で通話中に新たな着信があっても、発信者番号は表示されません。また通話終了直後の着信も表示されないことがあります。

INSナンバー・ディスプレイで着信中は、らくらくユーティリティの **OK** または **登録** ボタンをクリックしないでください。

1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続した場合、ナンバー・ディスプレイ対応通信機器が接続されていても発信者番号は正しく表示されません。

PHS事業者、デジタル携帯電話によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない状態でAtermを「ナンバーディスプレイを使用する」に設定すると、アナログ網からの着信は発信者番号が表示されません。また接続したナンバー・ディスプレイ対応通信機器には「ヒョウジケンガイ」と表示されます。

ディスプレイの表示については、第5編「4. 液晶ディスプレイの表示」(P.313) を参照してください。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

通話中に別の相手から着信があった場合に、その相手の電話番号をAtermの液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応機器に表示します。ご利用になるにはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。

INSキャッチホンを利用するキャッチホン・ディスプレイ
INSキャッチホン機能を利用して新たな相手の電話を着信し、電話番号を表示します。



INS ネット 64 の「INSナンバー・ディスプレイ」と「フレックスホン」の「INSキャッチホン」を契約します。

疑似キャッチホンを利用するキャッチホン・ディスプレイ
Atermの疑似キャッチホン機能を利用して新たな相手の電話を着信し、電話番号を表示します。



INS ネット 64 の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。

使い方

- 1 通話中に新たな相手から着信があると「ブッ」という音が聞こえます。
- 2 「ブッ・・・」のあと「ピッ」という音が聞こえると、Atermの液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに着信した相手の発信者番号が表示されます。
- 3 フックを軽く押しすぐはなします。(フッキングといいます。) PHS (保留) または (通話) ボタンを押します。
新たな相手と通話できます。この間最初の相手には保留音が流れます。
- 4 もう一度フッキングすると最初の相手と通話できます。フッキングするたびに通話相手が切り替わります。

設定

- 1 Atermのキャッチホン機能を使用するか、INS ネット 64のキャッチホン機能を使用するかを選択します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows P.174 Macintosh P.68

 P.106

- 2 「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows P.174 Macintosh P.195

 P.207

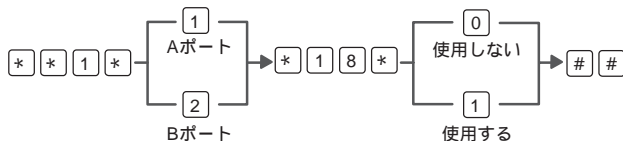
- 3 「キャッチホン・ディスプレイを使用する」に設定します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows P.174 Macintosh P.68



1 受話器を上げる

2 下記の手順で操作する



3 受話器を置く



キャッチホン・ディスプレイは無線A～Fポートに増設登録されたAtermRS20やPHSなどに着信した場合には機能しません。キャッチホン・ディスプレイ対応通信機器の機種によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

キャッチホン・ディスプレイの割り込み音は「ブツッ・」のあと「ビツ」と鳴ります。「ビツ」という割り込み音のときに話し中の声が重なると、1秒程度通話が途切れ、電話番号が正しく表示されないことがあります。

お出かけ設定の「おやすみモード」「フラッシュモード」、または停電時の動作の「ブザーを鳴らす」のいずれかを設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。

内線通話中に外線を着信したときはキャッチホンの設定にかかわらず、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ機器のディスプレイに着信した発信者番号が表示されます。

キャッチホン・ディスプレイ着信中はらくらくユーティリティの や ボタンをクリックしないでください。

1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続している場合は、キャッチホン・ディスプレイ対応機器が接続されていても正常に発信者番号通知ができません。

サブアドレスで特定の電話機に着信する

サブアドレス

INSネット64またはPHSの相手にサブアドレスを付けて電話をかけてもらおうと、Atermに接続されたポートごとの呼び分けができます。また相手がINSネット64に加入していれば、自分側からサブアドレスを付けて発信することができます。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

サブアドレス付きの電話番号に電話をかけます。

- ① 相手の電話番号をダイヤルします。
例 03-XXXX-XXXX … XXXXXXXX
- ② に続けて相手のサブアドレスをダイヤルします。
例 サブアドレス 100 …

設定

アナログA/Bポート、無線A～Fポートのサブアドレスをそれぞれ設定します。複数のポートに同じサブアドレスを付けないようにしてください。パソコンまたは電話機で設定します。

P.175

P.66



P.206

サブアドレスの設定・呼び分け例

	設定例		呼び分け例			
	サブアドレス	サブアドレス無しの着信	一般電話からの着信 (全端末一斉)	一般電話からの着信 (Cポート*1)	サブアドレス01の着信	サブアドレス04の着信
アナログAポート	01	する/しない	/ x	/ x		x
アナログBポート	02	する/しない	/ x	/ x	x	x
無線Aポート	03	-		x	x	x
無線Bポート	04	-		x	x	
無線Cポート	05	-			x	x
無線Dポート	06	-		x	x	x
無線Eポート	07	-		x	x	x
無線Fポート	08	-		x	x	x

: 呼び出す x: 呼び出さない

*1 Atermの無線ポートの設定を「音声通信のグローバル着信時の呼び出し」でCポートを設定した場合。

	着信時サブアドレス 指定なし	着信時サブアドレス 指定あり
自己サブアドレス 未登録	着信受付 *2	一致: 着信受付 不一致: 着信拒否
自己サブアドレス 登録済	着信受付 *2	着信拒否

*2 Atermの設定を「サブアドレスなし着信する」に設定した場合、「サブアドレスなし着信しない」に設定した場合、サブアドレスの指定がない着信は受け付けません。



サブアドレスが指定されなかった着信は、すべて受け付けます。
サブアドレスの指定があった着信は、登録したサブアドレスと一致したときのみ着信を受け付けます。
一般加入電話（アナログ電話回線）からは呼び分けはできません。
PHSでサブアドレス付きの発信をする場合は、機種によって操作が異なるのでPHSの取扱説明書を参照してください。

HLC が一致する相手と通信する

HLC (高位レイヤ整合性) 設定

接続するパソコンやアナログ通信機器の種別をHLCに設定し、HLCが一致する相手とだけ通信をおこないます。相手がINS ネット 64 に加入している場合にだけ利用できます。

発信時はAterm が自動的にHLCを付けて発信します。

着信時は発信者からのHLCを照合し、一致するときだけ通信をおこないます。

HLCがない相手からの着信はすべて受け付けません。



付加サービスの契約は必要ありません。

HLCコード	接続機器の種別
01	電話
04	G2/G3ファクス
33	G4ファクス
36	ミックスモード
49	テレテックス
50	ビデオテックス
53	テレックス
56	メッセージ処理システム (MHS)
65	OSIアプリケーション

設定

HLC 設定とコードを設定します。
パソコンまたは電話機で設定します。

Windows

P.175

Macintosh

P.199



P.206



アナログポートに接続された機器は、自動的にHLCが設定されます。

電話：HLCコード「01」(電話)

FAX/ モデム：HLCコード「04」(G2/G3 ファクス)

アナログポートで「HLCを設定する」に設定されていても、着信時にHLCが一致しない場合も着信を受け付ける（HLCを付けて発信はするが、着信判別はしない）ように設定することができます。ATコマンドの「AT\$A」「AT\$B」で設定します。ファクス付電話機のように、相手が電話でもファクスでも着信を受け付けたいときは「HLCを設定しない」に設定します。HLCが設定されていると、ISDN用電話機からの着信が受けられません。

2 . さまざまな通信機能

AtermIW50/Dでデータ通信をします。PHSやワイヤレスセットまたは別売のAtermRS20を用いると、ワイヤレスでデータ通信ができます。

ワイヤレスデータ通信するとき

データポートでデータ通信するとき

Atermのメール機能を利用するとき

Windows®98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略です。
Windows®95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略です。
WindowsNT®4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system Version 4.0の略です。

2-1 . ワイヤレスデータ通信するとき

INS ネット 64 の B チャンネルが 2 つあいている状態で、AtermIW50/D の無線チャンネルが 2 つあいている場合に以下のデータ通信ができます。

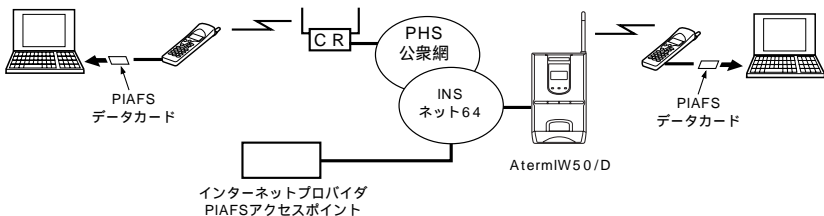
ワイヤレスデータ通信の種類		IW50/Dのデータポートと無線ポート(データ通信)同時使用	IW50/Dのデータポートと無線ポート(音声通話)との同時使用
PIAFS32k	PIAFSスルーモード	同時使用可	同時使用可
	プロトコル変換モード	同時使用不可	音声通話、PIAFSスルーモードの場合のみ同時使用可
PIAFS64k	PIAFSスルーモード	同時使用可	同時使用不可
	プロトコル変換モード	同時使用不可	
内線データ通信	無線ポート相互間	同時使用可	同時使用不可
	IW50/Dデータポート間	-	音声通話、PIAFSスルーモードの場合のみ同時使用可

ワイヤレスデータ通信の種類

Aterm は PIAFS2.0 に準拠しており、PIAFS32k 通信、PIAFS64k 通信ができます。また、PIAFS データ通信には「PIAFSスルーモード」「プロトコル変換モード」「デュアルリンクワイヤレス通信」の 3 種類があります。

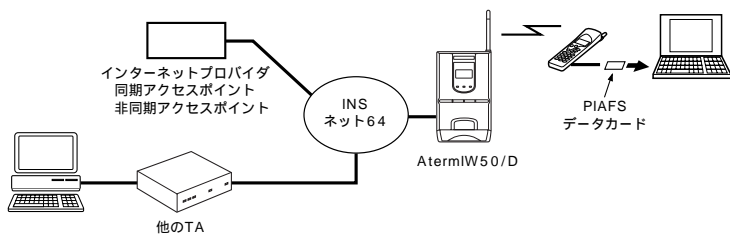
PIAFS スルーモード

PHS やリモートステーションからの PIAFS データを、AtermIW50/D で変換しないでそのまま INS ネット 64 に送出します。PIAFS 対応のアクセスポイント、または PHS 公衆網に接続された PHS データ端末と直接通信します。



プロトコル変換モード (同期または非同期)

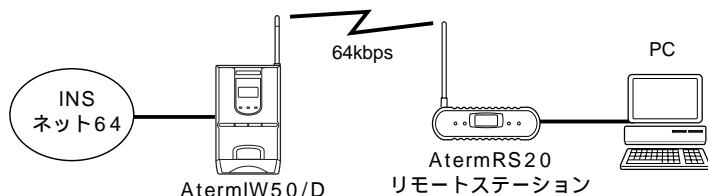
PHS やリモートステーションからの PIAFS データを AtermIW50/D で一時的に終端し、通信相手のモードに合わせてデータを変換します。PIAFS に対応していないターミナルアダプタやアクセスポイントと通信ができ、多くの同期 / 非同期アクセスポイントに接続ができます。



同期データへの変換は、PPP データに限定されます。

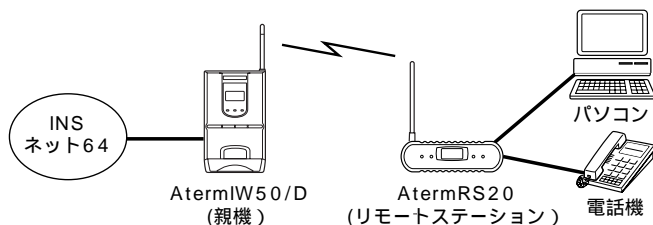
デュアルリンクワイヤレス通信 (NEC 独自方式)

リモートステーションのデータポートに接続されたパソコンから、無線 2 チャンネルを使って最大 64kbps のデータ通信ができる NEC 独自の方式です。AtermIW50/D のプロトコル変換モードによって同期 / 非同期 PPP 変換が可能なので、プロバイダのアクセスポイントとも簡単に接続できます。



リモートステーションでデータ通信をする

AtermIW50/Dの子機として、リモートステーションを増設登録できます。AtermIW50/Dとリモートステーションでワイヤレス通信し、はなれた場所の電話機やパソコンを使うことができます。



設定

リモートステーションの取扱説明書をご覧ください。



リモートステーションとして使用できるのはAtermRS10、AtermRS20、AtermIW60です。

リモートステーションとして登録できる内線番号はAtermRS20の場合は91・92・93・94・95、AtermRS10とAtermIW60は91・93・95です。それ以外の番号では正しく動作しません。

ワイヤレスセットモデルのAtermRS20は、無線Aポートにあらかじめ登録されています。

PHSでデータ通信をする

PHS電話機をAtermIW50/Dの子機として最大6台まで使用することができます。他の子機やアナログポートに接続した電話機と通話や転送ができます。



PHSを子機として使うには、増設登録 (ID登録 有料) が必要です。お近くのNECサービスステーション (P.245) または販売店、PCクリーンスポット (P.243) にご相談ください。

子機として使用できないPHSがあります。ご使用になるPHSの機種を確認してください。接続できる機種については、ホームページ「AtermStation」 (<http://aterm.cplaza.ne.jp>)、またはFAX情報サービス (第4編「2-1. Atermについてのお問い合わせ」 P.239) で確認できます。ホームページでは順次確認できた機種を紹介しています。

PHSの待ち受けモードは「オフィスモード」(構内モード)に設定します。オフィスモードを含むデュアルモードやオートモードでも使用できます。データカード一体型PHS以外でデータ通信をおこなう場合は、別途データカードが必要です。詳しくはPHS販売店などへお問い合わせください。



PHSをコードレス子機で使用した場合、PHS公衆モードで利用できる留守番電話サービス、文字メッセージ受信、発信時の番号通知などのPHS公衆網のサービスは利用できません。ただし、ポケットベルへのメッセージ送信、リモートダイヤルなどのプッシュトーン送出機能は、AtermがPHSの信号をPB信号に変換するので利用できます。

AtermIW50/DからPHSに電波が届く範囲は、間に障害物がない状態で約100mです。設置環境によっては100m以内でも電波が届かない場合がありますので、Aterm前面のPHSランプまたはPHSの電波状態表示を確認の上電波の届く範囲でご使用ください。

内線データ通信をする

AtermIW50/Dのデータポート、リモートステーションのデータポート、PHSデータ端末との内線間でデータ通信ができます。

使い方

AtermIW50/Dのデータポートからの発信例
内線91のリモートステーションへ発信：# / 9 1 DL

リモートステーションのデータポートからの発信例
AtermIW50/Dへ発信：# / 8 1 PF

PHS + カード + PCからの発信例
内線94のPHSへ発信：# / 9 4



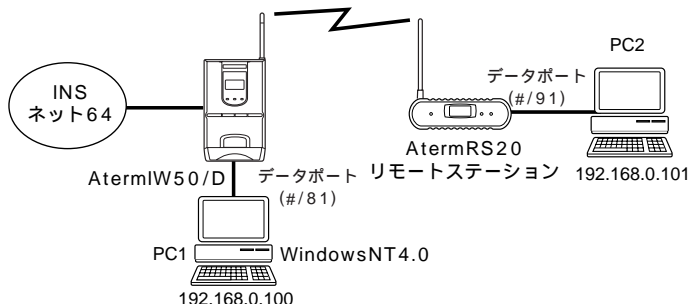
データポートから発信する際の「/」は、AT/Sコマンドのセパレータ設定で「*」「#」に変更することができます。ただし、セパレータを「#」に設定すると、内線データ通信で発信ができなくなります。

AtermIW50/Dのデータポートの内線番号は「81」になります。

通信ポート	使用できるデータ通信の種類	発信	着信
データポート・無線ポート間	デュアルリンクワイヤレス通信	内線番号の後に「DL」を付ける	設定不要
	PIAFS64k通信	内線番号の後に「PD」を付ける	
	PIAFS32k通信	内線番号の後に「PF」を付ける	
無線ポート間	PIAFS32k通信		

ファイルの共有をする

Windows®98/Windows®95/WindowsNT®4.0の場合、AtermIW50/DとAtermRS20などのリモートステーションに接続されたパソコン間で、ファイルやプリンタの共有ができます。各パソコンのネットワークの設定に「NetBEUI」が組み込まれている必要があります。



ネットワークコンポーネントの確認

「NetBEUI」が組み込まれているか確認します。ファイルを共有するすべてのパソコンで、それぞれ確認します。

- 1 パソコンで **スタート** [設定] [コントロールパネル] を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



- 3 「ネットワークの設定」タブをクリックします。



[ネットワークの設定] 画面が表示されます。

- ④ 「現在のネットワークコンポーネント」に次のものが含まれているか確認します。
- NetBEUI
 - Microsoft ネットワーククライアント
 - Microsoft ネットワーク共有サービス
- ⑤ ボタンをクリックし、[ネットワーク] 画面を終了します。



WindowsNT4.0 の場合は、あらかじめ「RAS (リモートアクセスサービス)」を組み込んでおく必要があります。またRASの設定で着信とリモートアクセスを許可するように設定しておきます。ネットワークプロトコルはそれぞれの環境に合わせて、NetBEUI プロトコルまたは TCP/IP プロトコルを組み込みます。RAS については WindowsNT4.0 の取扱説明書を参照してください。

AtermIW50/D に登録されている AtermRS20 の着信に関する設定の初期値は、デュアルリンクワイヤレスモードになっています。AtermRS20 に対して 32kbps で着信させたい場合は、『IW50らくらくユーティリティ』を使って、対応する無線ポートの着信に関する設定を変更します。

Macintosh の場合は、デュアルリンクワイヤレス通信の CCL ファイルをお使いください。

「NetBEUI」が組み込まれていることを確認したあとに

- ① 共有するフォルダ名またはプリンタ名を PC1 または PC2 (パソコン名例) に設定した後、各パソコンを再起動します。
- 共有設定については、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- ② PC2 から PC1 へダイヤルアップ接続します。
- 例 AtermRS20 のデータポートからの発信
AtermIW50/D に対して、電話番号として「# /81」を用いる
- 例 AtermIW50/D のデータポートからの発信
内線 91 の AtermRS20 に対して、電話番号として「# /91」を用いる
- ③ PPP による認証をおこないます。
- ④ [検索] [ほかのコンピュータ] を選択します。
- ⑤ [検索 : コンピュータ] 画面の「名前」に「PC1」または「PC2」を入力し、 ボタンをクリックします。
- ① で指定したフォルダ名またはプリンタ名が表示されます。



AtermIW50/D のデータポートの内線番号は「81」になります。発信の際の「/」は、AT/S コマンドのセパレータ設定で「*」「#」に変更することができます。ただしセパレータを「#」に設定すると、内線データ通信ができなくなります。

AtermIW50/D の増設登録の際に、AtermRS20 の内線番号は 91 ~ 96 のいずれかに決まります。

ダイヤルアップ接続の場合は、「ダイヤルアップネットワーク」のプロパティで「国番号と市外局番を使う」を にし、「電話番号」に「# /81」や「# /91」というように電話番号を入力します。(P.256)

2-2 . データポートでデータ通信するとき

非同期 / 同期 PPP 変換

非同期 PPP (Point to Point Protocol) 接続機能を持つパソコンと、ISDN 回線 64kbps (同期) のダイヤルアップIPアクセスポイントを持つインターネットプロバイダに接続します。

設定

通常はインターネット接続の際に使用するモデム定義ファイル(AtermIW MP128) CCL ファイル(NEC AtermIW MP128)で指定されているので、設定する必要はありません。設定する場合は、AT コマンドで設定します。

AT コマンド at \$ n1=1

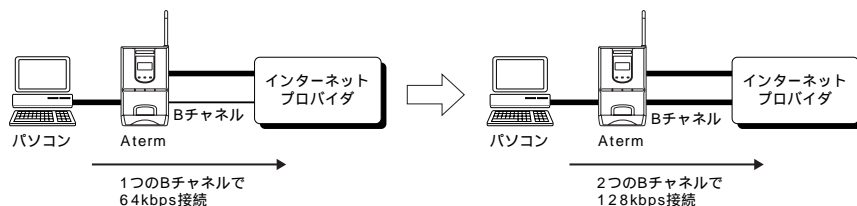


ネットワークからのACCM(*1)を許容しないPPPアプリケーションをお使いの場合は、AT コマンド「 at \$ n13=0 」でACCM を付加しないようにしてください。Windows98/Windows95/WindowsNT4.0はACCMを許容するので該当しません。

*1 ACCM = Async Control Character Map の略。非同期 PPP 通信で使用する制御キャラクタを 2 バイトのキャラクタに変換するかどうかを決める。

128kbps マルチリンク PPP の BOD 機能を利用する

ISDN回線 128kbps(同期)のダイヤルアップIPアクセスポイントを持つプロバイダに接続し、B1チャンネルでプロバイダに発信してPPP接続を完了後、B2チャンネルで同様に発信します。2つのBチャンネルを使って128kbpsのデータ通信をおこないます。



設定

通常はインターネット接続の際に使用するモデム定義ファイル(AtermIW MP128)、CCLファイル(NEC AtermIW MP128)で指定されているので、設定する必要はありません。設定する場合は、ATコマンドで設定します。

ATコマンド `at $n11=1`



お知らせ

128kbps マルチリンク PPP 通信状態になると、Atermのブザーが「ピッピッ」と鳴ります。

128kbps マルチリンク PPP 通信で発信しても、プロバイダのアクセスポイントのポートに空きがない場合は1つのBチャンネルしか接続できないことがあります。

128kbps マルチリンク PPP 通信は2つのBチャンネルを使用するため、通信料金はBチャンネル1つしか使用しない通信の2倍かかります。

128kbps マルチリンク PPP 通信中は電話の発着信はできません。

Atermのデータポートをお使いの場合は、パソコンのシリアルポートの速度を230.4kbpsに設定します。Windows98/Windows95の場合は230.4kbpsに対応した市販の高速RS-232Cポートを購入してください。Macintoshの場合は230.4kbps対応の機種をお使いください。

128kbps マルチリンク PPP 通信をおこなうには、プロバイダ側が認証プロトコルとしてPAP(パスワード認証プロトコル)をサポートし、1つ目と2つ目のBチャンネルのネゴシエーションを同じ値で容認できる必要があります。通常、プロバイダはこれらが可能です。

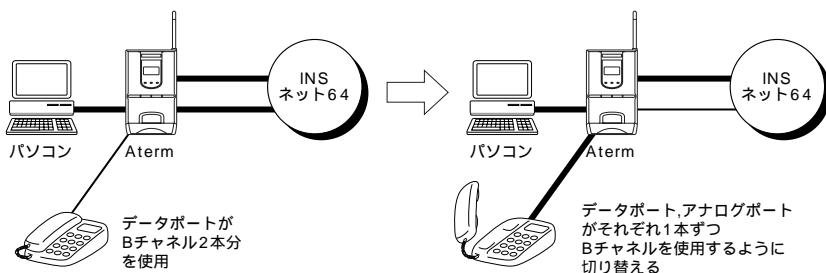
MacintoshでネットワークからのACCMを許容しないPPPアプリケーションをお使いの場合は、「AT \$N13=0」コマンドでACCMを付加しないようにしてください。

AtermIWシリーズ、AtermITX80/70シリーズ、AtermIT75シリーズ、60/D、65EXシリーズ、65シリーズ、50DSU、40/D、55シリーズ同士であれば、128kbps マルチリンク PPP 通信を対向で実行することができます。この場合は発信側と着信側に「at \$m=8」を設定してください。また、受信側は応答平均化(P.180)を使用しないでください。

他の機種との128kbps マルチリンク PPP 対向通信はできません。

リソース BOD

128kbps マルチリンク PPP 通信中にアナログポートに接続している電話機の発着信があると、データ通信で使用している B チャンネルの 1 つを削除し、電話機が使用できるようにします。通話が終了すると 128kbps マルチリンク PPP 通信にもどります。



INS ネット 64 の付加サービス「通信中着信通知サービス」を契約します。

設定

パソコンで設定します。

Windows

P.179

Macintosh

P.200



お知らせ

B チャンネルの 1 つが削除されると「ピッ」と音が鳴ります。通信終了時にも「ピッ」と音が鳴ることがあります。

プロバイダの混雑状況によっては、電話終了後に 2 つ目の B チャンネルを追加できないことがあります。（「ピッピッ」と音が鳴りません。）このときは、電話機の手受器を上げて 2 秒待ってから受話器をもどすと、再度 B チャンネルの追加を試みます。

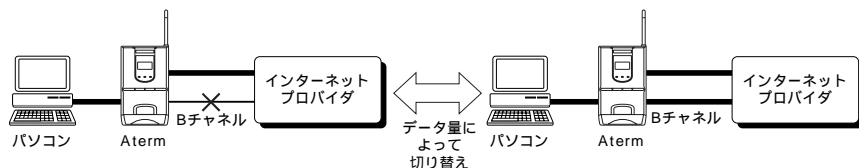
2 つ目の B チャンネルの追加と電話をかけるタイミングが重なると、話し中音が聞こえることがあります。その場合は再度電話をかけなおしてください。

リソース BOD とスループット BOD の両方を設定した場合、B チャンネルの削除はそれぞれの削除条件にもよりますが、スループットがしきい値以上になったときだけ B チャンネルが追加されます。通話後に条件が満たされなければ、B チャンネルは追加されません。

スループットBOD

128kbps マルチリンク PPP 通信中、通信データ量によってデータ通信が使用する B チャンネル数を 1 つまたは 2 つに自動的に変更します。通信データ量が少ないときには 1 つの B チャンネルを使用し、データ量が多いときだけ 2 つの B チャンネルを使用するので、通信料金を節約することができます。

設定した「リンク追加算出時間」内の送出または受信データ量が「リンク追加しきい値」より大きくなると、2 つ目の B チャンネルを追加します。また「リンク削除算出時間」内の送出または受信データ量が「リンク削除しきい値」より小さくなると、2 つ目の B チャンネルを削除して B チャンネル 1 つだけを使用するようにします。



設定

「スループットBOD」と「リンク追加しきい値 / 算出時間」、「リンク削除しきい値 / 算出時間」をパソコンで設定します。

Windows

P.179

Macintosh

P.200



お知らせ

「リンク追加」は B チャンネルの追加、「リンク削除」は B チャンネルの削除のことをいいます。

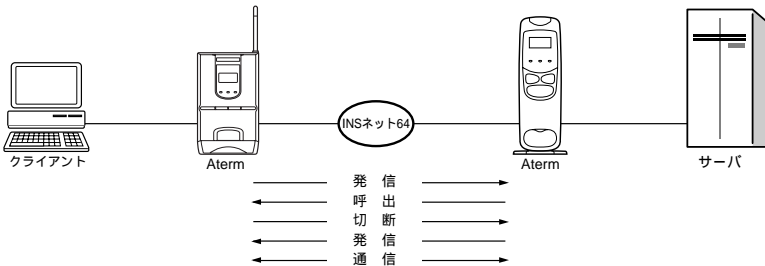
「しきい値」は回線利用率 (%) で指定します。

回線利用率 (%) = (一定時間のデータ量の平均値) ÷ (回線の最大データ量) × 100
なお、「回線の最大データ量」は 64kbps (= 8kbps/秒) と考えます。

例 リンク追加算出時間 = 30 秒 リンク追加しきい値 = 70% のとき
30 秒間の回線利用率が 70% より大きくなったとき (= 30 秒間のデータ量の平均値が 44.8kbps より大きくなったとき) B チャンネルを追加

スティルスコールバックを利用する

Atermを使用したネットワークで、クライアント側から発信するとサーバ側のAtermが自動的にクライアント側へ電話をかけ直して、クライアント側の電話料金を発生させないようにすることができます。自宅（クライアント）と会社（サーバ）間のネットワークで、自宅側の電話料金を発生させずに通信するという使い方などができます。



ここではAtermIW50/Dのデータポートに接続されたクライアントとサーバ間でのスティルスコールバックについて説明します。AtermIW50/Dの無線ポートに接続されたクライアント（例：AtermRS20のデータポートに接続されたパソコンなど）とサーバ間のスティルスコールバックについては、AtermRS20などのワイヤレス子機の取扱説明書を参照してください。使用するワイヤレス子機（AtermRS10やAtermIW60（子機モード）など）によってはスティルスコールバックの機能を持っていないものもあります。

設定

ATコマンドとパソコンでクライアントとサーバの設定をします。

クライアント（発信）側

- 1 「スティルスコールバックする」に設定します。

ATコマンド at\$n10=1

- 2 「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定します。

ATコマンド at\$n12=1

相手に発信者番号を通知するように設定します。INSネット64の契約とAtermの設定によって、他の設定方法でもできます。（ P.92 ）

- 3 パソコンで設定します。

Windows

P.180

Macintosh



P.198

- 4 「RS-CS フロー制御あり」（初期状態）に設定します。

ATコマンド at¥q3

- 5 「自動応答」(初期状態はRING1回で自動応答)に設定します。
ATコマンド `ats0=1`

サーバ(着信)側

- 1 サーバのER信号をONにします。
- 2 「ステイルスコールバックする」に設定します。
ATコマンド `at$n10=1`
- 3 「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定します。
ATコマンド `at$n12=1`
- 4 パソコンで設定します。
- | | | | |
|---|-------|---|-------|
|  | P.180 |  | P.198 |
|---|-------|---|-------|
- 5 「RS-CSフロー制御あり」(初期状態)に設定します。
ATコマンド `at¥q3`
- 6 「自動応答」(初期状態はRING1回で自動応答)に設定します。
ATコマンド `ats0=1`



お願い

クライアント側の同一回線内に複数のターミナルアダプタが接続されているときは、Atermが指定されるようにサブアドレスやダイヤルインを利用してください。指定されていないと、かけ直したときに他のターミナルアダプタが応答することがあります。



お知らせ

AtermIW50/D、AtermITX80/70シリーズ、AtermIT75シリーズ、60/D、40/D、65EXシリーズ、65シリーズ、50DSU、55シリーズ、45シリーズ、25DSU、AtermIW60シリーズ(子機モード)、AtermIB55Pro/II、AtermIC20で利用できます。

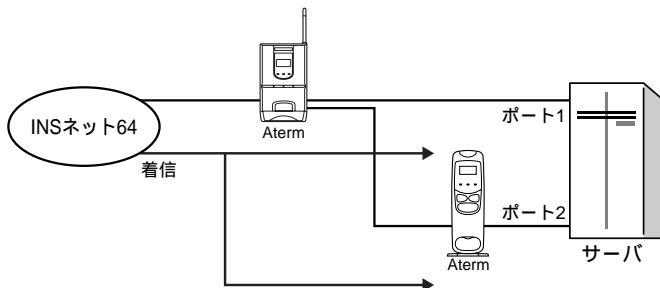
ステイルスコールバックが実行されたかどうかは、通信後にクライアント側の累積通信料金が増えていないことで確認できます。

ステイルスコールバックを利用していても、通常の発信はできます。

アナログポート、AtermRS20以外の無線ポートでは使用できません。

応答平均化を利用する

1本のINSネット64に複数のAtermが接続されている場合、クライアントからサーバにアクセスがあるとサーバは全ポートに着信し、その中で早く応答したポートがクライアントと通信状態になり、遅く応答したその他のポートは接続に失敗したとみなされ切断されます。このため、遅く応答したポートは着信から切断復旧までの間、次の着信を受けることができません。応答平均化を利用すると各Atermへ交互に着信させることができるので、サーバに対する無効な着信や接続の失敗を防ぐことができます。



設定

パソコンで「応答平均化する」、「接続台数（接続端末数）」を設定します。

Windows

P.180

Macintosh

P.198



同一のINSネット64回線に接続されているすべてのAtermに「応答平均化する」を設定してください。設定されていないAtermがあると、着信順が保証できません。



AtermIW50/D、AtermITX80/70シリーズ、AtermIT75シリーズ、60/D、40/D、65EXシリーズ、65シリーズ、50DSU、55シリーズ、45シリーズ、40/D、25DSU、AtermIW60シリーズ、AtermIB55Pro/II、AtermIC20で利用できます。

アナログポート、無線ポートでは使用できません。

無通信監視タイマを利用する

通信を監視し、一定時間データのやりとりがないと自動的に通信を切断します。監視時間は1～10分で、1分単位で設定できます。

設定

パソコンで設定します。

Windows

P.179

Macintosh

P.198



MacintoshでOpen Transport PPPをご利用の場合やプロバイダによっては、監視パケットなどを定期的に発信する場合があります。その場合、無通信監視タイマが無効になり通信は切断されないため、パソコンから切断操作を実行してください。

強制切断タイマを利用する

設定した通信時間を超えると、強制的に通信を切断します。ソフトウェアが正常に動作しなかったためにパソコンで切断操作ができなかった場合などの切断忘れを防ぎます。タイマは1～10時間で、1時間単位で設定できます。

設定

パソコンで設定します。

Windows

P.179

Macintosh

P.198



強制切断したくない場合は、「切断しない」に設定してください。



定期的に監視データを発信するため、無通信監視タイマが無効なプロバイダとの接続でも切断忘れを防ぐことができます。

CTIを利用する

CTI(コンピュータ・テレフォニー・インテグレーション)機能は、着信時に通知される情報をコンピュータで処理するなど、電話機とコンピュータを統合的に利用する機能のことで、AtermのCTI機能は、アナログポートに通知される着信情報に含まれる発信者番号などを、着信時にデータポートにリザルトコードで送じます。

RING ANALOG 発信者番号(最大32桁) / 発信者サブアドレス(最大19桁)
着信番号(最大32桁) / 着信サブアドレス(最大19桁)

非通知理由を受信したときは、発信者番号 / 発信者サブアドレスの代わりに以下の形式でリザルトコード(P.286)を送じます。

RING ANALOG [非通知理由] 着番号 / 着サブアドレス

P : ユーザ拒否

O : サービス提供付加

C : 公衆電話発信

S : サービス競合

設定

パソコンで「CTIモードを使用する」に設定します。

ATコマンド AT\$A16=1

Windows

P.175



サブアドレスセパレータ「/」は固定です。
リザルトコードの最後に付加される「CR」「LF」は固定です。
i・ナンバーをご利用のときは、着信番号のかわりにi・ナンバー情報に対応した電話番号が表示されます。

2-3 . Aterm のメール機能を利用するとき

INS ネット 64 の基本サービス「ユーザ間情報通知サービス (UUI)」でメールサービスが利用できます。

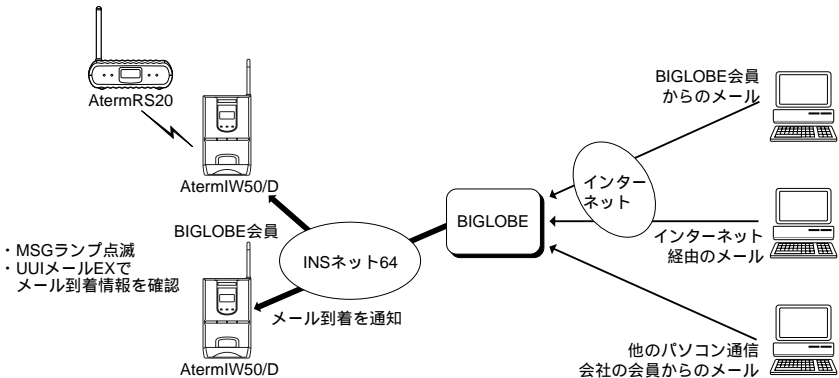
メールサービスについて

Aterm で利用できるメールサービスは次の 3 種類です。

電子メール着信通知

BIGLOBE に電子メールが届くと、AtermIW50/D または AtermRS20 の MSG ランプが点滅して電子メールの到着を知らせます。また、ユーティリティソフト「UUI メール EX」をインストールしておくことで電子メールの到着のほか、電子メールの発信者 (From) や件名 (Subject) の情報もパソコン画面で確認できます。

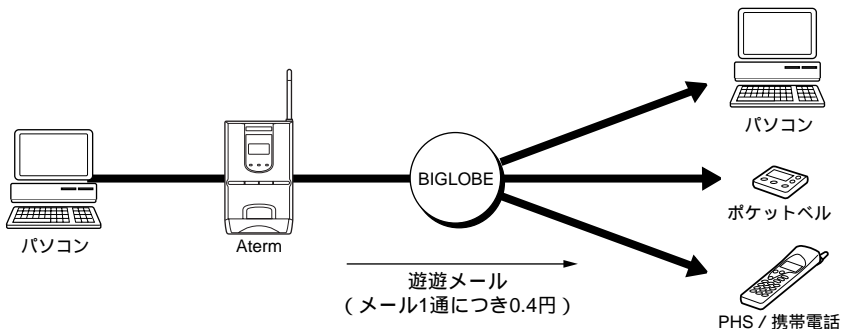
BIGLOBE の加入とメールオプションの申し込みが必要です。



遊遊メール (UUI メール変換サービス)

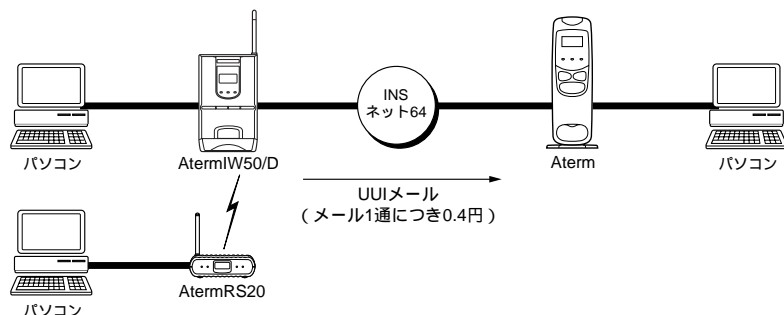
BIGLOBE に UUI メールを送信すると、BIGLOBE のサーバが電子メールの形式を変換してインターネット上に送信します。電子メールでの呼び出しやメッセージ送信ができる PHS、携帯電話、ポケットベルのショートメッセージサービスを利用することもできます。また、Aterm に接続した電話機から送信することもできます。

BIGLOBE の加入とメールオプションの申し込みが必要です。



UUIメール

プロバイダやパソコン通信サービスを経由せずに、AtermIW50/DまたはAtermRS20とその他のAterm間で直接メールを送受信することができます。



ご利用の条件

Atermのメール機能を利用するには、以下の契約と申し込みが必要です。

INS ネット 64 基本サービスの契約

利用するメール機能によってINSネット64の基本サービスの契約を次のようにしてください。

INS基本サービス メールサービス	ユーザー間情報通知	発信者番号通知	通信中着信通知
電子メール着信通知	着信許可	-	申込推奨 *1
遊遊メール	着信許可	-	申込推奨 *1
UUIメール	着信許可	通常通知（通話ごと非通知）または通常非通知（回線ごと非通知）*2	-

*1「通信中着信通知」を申し込むと、2つのBチャネルを使用した通話中でもUUIの着信を受け付けることができます。

*2「通常非通知」にてご契約になっている方はらくらくユーティリティの設定で、データポートの発信者番号通知を「おこなう」に設定する必要があります。

BIGLOBEの申し込み

「電子メール着信通知」「遊遊メール」を利用するには、BIGLOBEの加入（有料）とメールオプションの申し込み（有料）が必要です。詳細はそれぞれのホームページを参照してください。（平成12年1月現在）

BIGLOBE ホームページ = <http://www.biglobe.ne.jp>

メールサービスホームページ =

<http://aterm.cplaza.ne.jp/special/uuimex/index.html>

使用するツール

	電子メール 着信通知	遊遊メール	UIIメール	参照ページ
UIIメールEX	*1	*2		Windows : P.153 Macintosh : P.158
テレホンUIIメール (電話機)	×	×		P.162
テレホン遊遊メール (電話機)	×	*2	×	

*1 BIGLOBE で設定した「通知表示名」の登録が必要です。

*2 BIGLOBE のIDの登録が必要です。



『BIGLOBE』は、NECが運営するインターネットとパソコン通信の垣根をなくしたプロバイダです。

設定

データポートに発信者通知番号と着信番号を設定します。
パソコンで設定します。

Windows

P.178

Macintosh

P.198

UIIメールEX を使うには

メールサービスを利用するには、Aterm IW50/D に添付されているユーティリティソフト「UIIメールEX」を使用します。



「UIIメールEX」については、添付CD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」にHTML形式のオンラインマニュアルが保存されています。CD-ROMの「HTML」フォルダ内の「index.htm」ファイルをブラウザで開くと、UIIメールEXの詳細な説明を見ることができます。

Windows 98 / Windows 95 / Windows NT 4.0

UIIメールEX のインストール

- 1 パソコンを起動します。
- 2 添付CD-ROM「AtermIW50シリーズユーティリティ集」をCD-ROMドライブにセットします。
- 3 **スタート** [ファイル名を指定して実行]を選択します。
- 4 「名前」に半角で次のように入力します。
Q: ¥Util¥Mail¥Uuiex¥Setup.exe
(Qはドライブ名)



- 5 **OK** ボタンをクリックします。
[インストール先の選択]画面が表示されます。

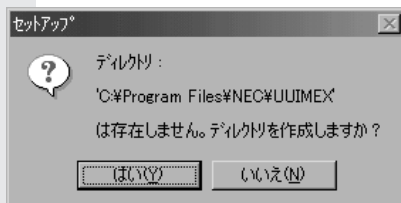
- 6 インストール先とフォルダ名を指定し、**次へ** ボタンをクリックします。

変更の必要がない場合は、そのまま**次へ** ボタンをクリックします。

インストール先、フォルダ名を変更するときは**参照** ボタンをクリックし、インストール先を指定します。

次の画面が表示されたら、**はい** ボタンをクリックします。

[プログラムフォルダの選択]画面が表示されます。



- 7 プログラムフォルダ名を指定し、**次へ** ボタンをクリックします。

プログラムフォルダ名を変更するときは、フォルダ名を入力するか、または「既存のフォルダ」から選択します。

インストールが始まります。

[コンポーネントの選択]画面が表示されます。

- 8 「スタートアップに登録する」のチェックボックスがになっていることを確認して**次へ** ボタンをクリックします。

「スタートアップに登録する」がチェックされていると、パソコンの起動時に自動的にUIIメールEXが起動します。

[セットアップの完了]画面が表示されます。

9 「今すぐUIメールEXを起動する」と「README.TXTを参照する」が になっていることを確認して **終了** ボタンをクリックします。

メモ帳が起動し、UIメールEXの説明が表示されます。

10 READMEを読み終えたらクローズボックスをクリックし、メモ帳を終了します。

[UIメールEX] 画面が表示されます。



UIメールEXの環境設定をする

メール機能の環境設定をします。

1 タスクトレイ内の「UIメールEX」アイコンを右クリックします。



ポップアップメニューが表示されます。

2 [環境設定] を選択します。

[環境設定] 画面が表示されます。

[UIメールEX] 画面の「環境設定」アイコンをクリックして環境設定画面を表示させることもできます。

3 「メール着信通知」「UIメール」「遊遊メール」の中から利用するメールサービスのタブをクリックします。

メール着信通知



メール到着検出時にポップアップする にすると電子メールが到着したことをパソコンの画面上で知らせます。

参照 ボタン

「利用するメールソフト」を設定するときにクリックします。ふだん使っている電子メールソフトを選択します。

利用するメールソフト

参照 ボタンで指定した電子メールソフトが表示されます。電子メールソフトを指定していない場合は空欄です。

メール通知設定

電子メール着信通知をするときの名前を次の手順で登録します。

- ① 名前を登録する欄をクリックし、**登録** ボタンをクリックします。
[名前登録]画面が表示されます。
「サービスプロバイダ」には「BIGLOBEメール」と表示されます。



- ② 「名前」に電子メールが着信したときに表示させる自分の名前を入力します。
- ③ 「通知表示名」に BIGLOBE のメールオプション設定で入力した通知表示名と同じ名前を入力します。
- ④ **OK** ボタンをクリックします。
「メール通知設定」を複数登録するときは、①～④をくり返します。

遊遊メール



BIGLOBE-ID

BIGLOBE の ID を入力します。

発信者番号通知

発信者番号通知の番号が表示されていることを確認します。表示されていないときは、IW50 らしくユーザーリティで契約者回線番号を設定してください。

UII メール



メール到着検出時にポップアップする
 にすると電子メールが到着したことをパソコンの画面上で知らせます。

発信者名

任意の名前を入力します。

Aterm を使えるようにする

Aterm を活用しよう

Aterm を活用しよう

困ったときには

付録

索引

④ [システム設定] タブをクリックします。

[システム設定] 画面が表示されます。



ポート番号

Atermが接続されているCOMポートを選択します。「自動設定」を選択すると、起動時にUIメールEXが自動的にCOMポートを検出します。

起動時最小化する

にするとUIメールEXのメイン画面を、起動時に最小化します。

メール監視時間

Atermに対してメール到着の確認を何分ごとにするかを設定します。

⑤ **適用** ボタンをクリックしてから **OK** ボタンをクリックします。

アドレス帳に登録する

メール送信する相手をアドレス帳に登録します。

① タスクトレイ内の「UIメールEX」アイコンを右クリックします。

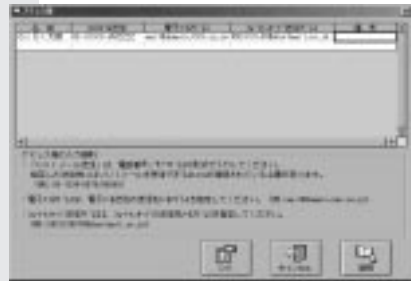
ポップアップメニューが表示されます。

② [アドレス帳] を選択します。

[アドレス帳] 画面が表示されます。

[UIメール送信] 画面の **アドレス帳** ボタンをクリックして[アドレス帳] 画面を表示させることもできます。

③ 入力する欄をクリックし、アドレスを入力します。



名前

送信相手の名前を入力します。

UIメール送信

UIメール送信をおこなう相手の電話番号を入力します。サブアドレスがある場合は、「/」のあとにサブアドレスを入力します。

電子メールアドレス

電子メール送信をおこなう相手の電子メールアドレスを入力します。

ショートメッセージ送信アドレス

ショートメッセージ送信をおこなう相手のドメイン名を入力します。

備考

備考が必要なときに入力します。

④ **適用** ボタンをクリックします。

続けて登録する場合は、②～③をくり返します。

⑤ **OK** ボタンをクリックします。

[アドレス帳]画面が終了し、[UIメール送信]画面にもどります。

メールを送信する

① タスクトレイ内の「UUIメールEX」アイコンを右クリックします。

② メニューの中から利用するメール送信サービス(UUIメール送信、電子メール送信、ショートメッセージ送信のいずれか)を選択します。

UUIメール送信

Aterm間で直接メール送信をするとき

電子メール送信

遊遊メールで電子メールを送信するとき

ショートメッセージ送信

遊遊メールでメッセージ送信ができるPHS、携帯電話、ポケットベルのショートメッセージサービスを利用するとき

[UUIメール送信]画面が表示されます。

③ 宛先(メール送信先)とメッセージ内容を入力します。



利用サービス

利用するメール送信を確認します。

追加 ボタン

アドレス帳に登録されている宛先を追加します。

手入力 ボタン

宛先を直接入力するときにクリックします。

差込ファイル ボタン

保存済みのメッセージを送信するときにファイルを指定します。

① 「利用サービス」が②で選択したメール送信サービスになっていることを確認します。

② 追加 ボタンをクリックします。

[宛先選択]画面が表示され、アドレス帳に登録されている名前が表示されます。

③ 送信相手を選択します。

送信先を直接入力するときは手入力 ボタンをクリックし、相手の電話番号やメールアドレスを入力してOK ボタンをクリックします。

④ 発信者名が表示されていることを確認します。

「UUIメール送信」のときは、環境設定の「UUIメール」の発信者名に入力した名前が表示されます。「電子メール送信」「ショートメッセージ送信」のときは、環境設定の「遊遊メール」のBIGLOBE IDが表示されます。

⑤ 送信するメッセージを入力します。

メッセージ入力欄の上に入力可能文字数(半角)が表示されるので、その範囲内で入力します。あらかじめ保存しておいたメッセージを入力する場合は、差込ファイル ボタンをクリックしてメッセージの保存されているファイル名を指定します。

④ 送信 ボタンをクリックします。

送信が実行され、送信結果(「送信完了」または「送信失敗」)が表示されます。

⑤ AtermのSD/RDランプが消灯していることを確認し、OK ボタンをクリックします。

着信した電子メールを見る

BIGLOBE に電子メールが届くと Aterm のMSG ランプがオレンジ色に点滅します。タスクトレイの「UII メール EX」アイコンも点滅します。

電子メール着信通知の場合

[新着メール通知] 画面が表示されるので **[はい]** ボタンをクリックし、[メール参照] 画面でメールの「From」と「Subject」を確認します。

UII メールの場合

タスクトレイ内の「UII メール EX」アイコンを右クリックし、[UII メール受信] を選択して内容を確認します。



インターネットに接続しているときは Aterm に接続されたパソコンの COM ポート (通信ポート) が使用中なので、UII メール EX を起動することはできません。

Macintosh

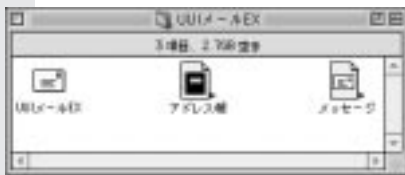
UII メール EX のインストール

- 1 パソコンを起動します。
- 2 添付 CD-ROM 「AtermIW50 シリーズ ユーティリティ集」を CD-ROM ドライブにセットします。
デスクトップに CD-ROM のアイコンが表示されます。
- 3 CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
- 4 CD-ROM 中の「UII メール EX」フォルダをハードディスクにコピーします。
UII メール EX のインストールが完了します。
- 5 CD-ROM を取り出します。


UII メール EX の環境設定をする

メール機能の環境設定をします

- 1 ハードディスク中の「UII メール EX」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「UII メール EX」のアイコンをダブルクリックします。



- 3 「まず初めに、環境設定を行ってください。」と表示されるので、**[OK]** ボタンをクリックします。

すでに環境設定をしてある場合は、[UII メール EX] 画面でツールバーの  ボタンをクリックします。

[UII メール EX - 環境設定 -] 画面が表示されます。



- ④ 「メール着信通知」「UIメール」「遊遊メール」の中から、利用するメールサービスの設定をします。

メール着信通知

- ① 「メール到着検出時にポップアップする」が になっていると、電子メールが到着したことをパソコン画面で知らせます。
- ② **登録** ボタンをクリックし、「メール通知設定」をします。

[名前登録] 画面が表示されます。



- ③ 名前を入力します。
- ④ 「通知表示名」にはBIGLOBEのホームページで設定した通知表示名（電子メール着信通知サービスの設定画面で入力したもの）を入力します。
- ⑤ **OK** ボタンをクリックします。

[メール着信通知] 画面にもどります。

「メール通知設定」を複数登録するときは、①～⑤をくり返します。

UIメール



- ① 「メール到着検出時にポップアップする」が になっていると、電子メールが到着したことをパソコン画面で知らせます。
- ② 「発信者名」を入力します。任意の名前を付けてください。

遊遊メール



- ① 「BIGLOBE ID」を入力します。
- ② 「発信者通知番号」が表示されていることを確認してください。

発信者通知番号が表示されていないときは、「IW50らくらくユーティリティ」を使用して契約者回線番号(自己アドレス)を設定してください。

Aterm を使えない

Aterm を活用しよう
機能編

Aterm を活用しよう
設定編

困ったときには

付録

索引

- 5 [システム設定]タブをクリックします。
[システム設定]画面が表示されます。



- 6 「接続ポート」でAtermが接続されているポート(「モデムポート」または「プリンタポート」)を選択します。


- 7 「メール監視時間」でAtermに対してメール到着の確認を何分ごとにするかを設定します。

- 8 ボタンをクリックします。
[UIメールEX]画面が表示されます。

アドレス帳に登録する


メールを送信する相手をアドレス帳に登録します。

- 1 ハードディスクの「UIメールEX」フォルダ内の「アドレス帳」アイコンをダブルクリックします。

UIメールEXが起動中の場合は、[UIメールEX画面]のツールバーの  ボタンをクリックします。

[UIメールEX - アドレス帳 -]画面が表示されます。



- 2  (新規)ボタンをクリックします。
[UIメールEX - アドレスの編集 -]画面が表示されます。

- 3 入力する欄をクリックし、アドレスを入力します。

名前

送信相手の名前を入力します。

UIメールアドレス

UIメール送信をおこなう相手の電話番号を入力します。サブアドレスがある場合は、「/」のあとにサブアドレスを入力します。

電子メールアドレス

電子メール送信をおこなう相手の電子メールアドレスを入力します。

ショートメッセージアドレス




ショートメッセージ送信をおこなう相手のドメイン名を入力します。



- ④ **OK** ボタンをクリックします。アドレス一覧の画面にもどります。続けて登録する場合は、①～④をくり返します
- ⑤ クローズボックスをクリックし、アドレス帳ウィンドウを閉じます。

メールを送信する

- ① ハードディスクの「UIIメールEX」フォルダ内の「UIIメールEX」アイコンをダブルクリックし、UIIメールEXを起動します。
- ② [UIIメールEX] 画面のツールバー中から利用するメール送信サービスのボタンをクリックします。

-  UIIメール
-  電子メール
-  ショートメッセージ

[UIIメールEX - メール送信 -]画面が表示されます。



例 「電子メール送信」の場合

- ③ **アドレス帳** ボタンをクリックし、「宛先」を指定します。アドレス帳に登録されていない場合は **手入力** ボタンをクリックして宛先を入力します。

同じ内容のメールを複数の相手に送信する場合は、**追加** ボタンをクリックして宛先を追加します。

- ④ 「メッセージ」に送信するメッセージを入力します。

入力可能文字数(半角)が「あとXX文字」と表示されるので、その範囲内で入力してください。
あらかじめ保存しておいたメッセージを入力する場合は、**差込** ボタンをクリックしてメッセージの保存されているファイルを指定します。

- ⑤ **送信** ボタンをクリックし、送信を実行します。

送信結果(「送信完了」または「送信失敗」)が表示されます。

- ⑥ Aterm のSD/RD ランプが消灯していることを確認し **OK** ボタンをクリックします。

着信したメールを見る

- ① BIGLOBEに電子メールが届くとAtermのMSG ランプがオレンジ色に点滅し、「新着メールがあります。」と画面に表示されます。
- ② **OK** ボタンをクリックします。
- ③ 「UIIメールEX」を起動します。

電子メール着信通知の一覧が表示され、メールの内容が確認できます。



電子メール着信通知サービスの設定が正しくないと、MSG ランプは点滅しません。

テレホン UI メール / テレホン遊遊メールを使うには

Atermの液晶ディスプレイを見ながら、アナログポートに接続した電話機のプッシュボタンを使ってメールを送信することができます。

テレホン UIメールの送信

電話機から Aterm を持っている相手に UIメールを送信します。
ご利用の前に INS ネット 64 の契約内容が次のようになっているか確認してください。
ご確認項目 - 必須項目 - の「ユーザ間情報通知サービス」: 「着信許可」
ご確認項目 - 付加機能項目【月額使用料(無料)】 - : 「通信中着信通知サービス」

使い方

- 1 受話器を上げます。
- 2 を押します。
- 3 相手の電話番号を押します。
電話番号のかわりに を押すと、前回の電話番号が表示されます。
- 4 を押したあとにサブアドレス(最大 15 桁)を指定します。
サブアドレスを付ける場合: サブアドレス
サブアドレスを付けない場合:
- 5 を押したあとにメッセージを入力します。
メッセージは数字と の組み合わせで入力します。(P.165 「メッセージの作成のしかた」)
例 ゲンキデスカ?

ケ ` ン キ テ ` ス カ ?
 を押すと前回のメッセージが表示されます。
メッセージとして入力できる文字数は半角で 100 文字以内です。これを超えるとエラー通知音(ピッピッ)が鳴り、それ以降の入力文字は無視されます。
- 6 を押したあと、受話器を置きます。
送信が終了すると、液晶ディスプレイの「ソウシンシマシタ」と5秒間表示されます。
送信が失敗したときは、「ソウシンシツパイ サイソウシンシテクダサイ」と表示されます。



メッセージ送信を中断するときは、最後の を押す前に受話器を置きます。
メッセージの送信が失敗したときや、もう一度同じ内容を送信するときは次の操作をします。

受話器を上げる 受話器を置く
なお送信できるのはテレホン UIメール、テレホン遊遊メール(ポケットベル / PHS / 携帯電話)、テレホン遊遊メール(電子メール)の区別なく直前に実行した 1 つだけです。

テレホン遊遊メールの送信（ポケットベル/PHS/携帯電話への送信）

BIGLOBE の遊遊メールサービスを利用して電話機からポケットベルや PHS、携帯電話にショートメッセージを送信します。

ご利用の前に次の点を確認してください。

BIGLOBE への加入と遊遊メールサービスの申し込み

BIGLOBE の ID 番号の登録（ P.167 「BIGLOBE の ID 番号の登録」）

発信者番号通知の設定

INS ネット 64 で「通常非通知」を契約している方は、IW50 らしくらくユーティリティでデータポートの発信者番号通知を「行う」に設定します。（Windows P.178、Macintosh P.198）

PHS、携帯電話、ポケットベルサーバのドメイン名の登録（ P.168 「ポケットベル/PHS/携帯電話のドメインネームの登録」）

使い方

- 1 受話器を上げます。
- 2 * * を押します。
- 3 登録してあるドメイン名の番号（ 3 1 ~ 3 8 ）を押します。
- 4 * を押したあと、送信相手の PHS、携帯電話、ポケットベルの番号を押します。
パスワードがある場合は、続けてパスワードも入力します。
パスワードで「_」を入力するときは、* 9 1 を押します。
電話番号のかわりに * 3 を押すと、前回の電話番号が表示されます。
- 5 # * を押したあとにメッセージを入力します。
メッセージは数字と * # の組み合わせで入力します。（ P.165 「メッセージの作成のしかた」）
* 3 を押すと前回のメッセージが表示されます。
メッセージとして入力できる文字数は 98 文字以内です。これを超えるとエラー通知音（ビッピッ）が鳴り、それ以降の入力文字は無視されます。
- 6 # # を押したあと、受話器を置きます。
送信が終了すると、液晶ディスプレイの「ソウシンシマシタ」と 5 秒間表示されます。
送信が失敗したときは、「ソウシンシッパイ サイソウシンシテクダサイ」と表示されます。



メッセージ送信を中断するときは、最後の # を押す前に受話器を置きます。
メッセージの送信が失敗したときや、もう一度同じ内容を送信するときは次の操作をします。

受話器を上げる * 3 9 # 受話器を置く

なお送信できるのはテレホン UI メール、テレホン遊遊メール（ポケットベル/PHS/携帯電話）、テレホン遊遊メール（電子メール）の区別なく直前に実行した 1 つだけです。

テレホン遊遊メールの送信（電子メールへの送信）

BIGLOBEの遊遊メールサービスを利用して電話機から電子メールアドレスに電子メールを送信します。

ご利用の前に次の点を確認してください。

BIGLOBEへの加入と遊遊メールサービスの申し込み

BIGLOBEのID番号の登録（ P.167「BIGLOBEのID番号の登録」）

発信者番号通知の設定

INS ネット 64 で「通常非通知」を契約している方は、IW50 らしくらくユーティリティでデータボートの発信者番号通知を「行う」に設定します。（Windows P.178、Macintosh P.198）

使い方

- 1 受話器を上げます。
- 2 * * を押します。
- 3 4 1 を押します。
4 1 のかわりに 4 2 と押すと、あらかじめ短縮番号に登録したメールアドレスを使うことができます。（ P.169「電子メールアドレスの登録」）
- 4 * を押したあと、送信相手のメールアドレスを入力します。
3 で 4 2 を押した場合は、短縮番号 1 ~ 9 を入力します。
文字の入力は「メッセージの作成のしかた」（ P.165 ）を参照してください。
- 5 # * を押したあとにメッセージを入力します。
* 3 を押すと前回のメッセージが表示されます。
メッセージとして入力できる文字数は98文字以内です。これを超えるとエラー通知音（ビッピッ）が鳴り、それ以降の入力文字は無視されます。
- 6 # # を押したあと、受話器を置きます。
送信が終了すると、液晶ディスプレイの「ソウシンシマシタ」と5秒間表示されます。
送信が失敗したときは、「ソウシンシッパイ サイソウシンシテクダサイ」と表示されます。



メッセージ送信を中断するときは、最後の # を押す前に受話器を置きます。メッセージの送信が失敗したときや、もう一度同じ内容を送信するときは次の操作をします。

受話器を上げる * * 4 9 # 受話器を置く

なお送信できるのはテレホンUIメール、テレホン遊遊メール（ポケットベル / PHS / 携帯電話）、テレホン遊遊メール（電子メール）の区別なく直前に実行した1つだけです。

メッセージの作成のしかた

電話機プッシュボタンを使って、メール送信するメッセージを作成します。メッセージとして送信できる文字は、以下の「文字コード一覧」にあるカタカナ、アルファベット、数字、一部の記号です。

メッセージは文字コードを入力して文章を作ったり、Atermに登録してある定型文や自分で登録しておいた文章を組み合わせて作成します。

文字コード一覧

コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字
11	ア	51	ナ	91	ラ	36	K	76	¥	**	訂正
12	イ	52	ニ	92	リ	37	L	77	&	* 1	頁めくり
13	ウ	53	ヌ	93	ル	38	M	78	—	* 2	-
14	エ	54	ネ	94	レ	39	N	79	,	* 3	前データ
15	オ	55	ノ	95	ロ	30	O	70	%	* 4	[
21	カ	61	ハ	01	ワ	46	P	86	*	* 5	大小文字
22	キ	62	ヒ	02	ヰ	47	Q	87	#	* 6]
23	ク	63	フ	03	ン	48	R	88	空白	* 8	空白
24	ケ	64	ヘ	04	・	49	S	89	.	* 91	—
25	コ	65	ホ	05	°	40	T	80	@	* 92	;
31	サ	71	マ	16	A	56	U	96	1		
32	シ	72	ミ	17	B	57	V	97	2		
33	ス	73	ム	18	C	58	W	98	3		
34	セ	74	メ	19	D	59	X	99	4		
35	ソ	75	モ	10	E	50	Y	90	5		
41	タ	81	ヤ	26	F	66	Z	06	6		
42	チ	82	(27	G	67	?	07	7		
43	ツ	83	ユ	28	H	68	!	08	8		
44	テ	84)	29	I	69	-	09	9		
45	ト	85	ヨ	20	J	60	/	00	0		

英字の大文字 / 小文字の切り替え

* 5

文字入力 数字入力切り替え

* 8

数字入力 文字入力切り替え

* 2 * 2

定型文の入力

* 0 5 定型文コード

定型文コード一覧

コード	メッセージ	コード	メッセージ	コード	メッセージ
10	デ`ンワクダ`サイ	20	シキユウ!	30	自作メッセージ
11	オクレマス	21	OKテ`ス	59	
12	ヘンコウシマス	22	NGテ`ス		
13	チュウシテ`ス	23	シュウコ`ウ!		
14	サキニカエリマス	24	マッテテ!		
15	ルステ`ンアリ	25	ナニシテル?		
16	シ`カンテ`ス	26	ト`コニイル?		
17	シ`タク	27	イマイソカ`シイ		
18	カイシャ	28	コ`メンナサイ		
19	カ`ッコウ	29	アリカ`トウ		

例 ゲンキデスカ?

2 4 0 4 0 3 2 2 4 4 0 4 3 3 2 1 6 7
 ケ ` ン キ テ ` ス カ ?

例 Happy!

2 8 * 5 1 6 4 6 4 6 5 0 6 7
 H (小文字切替) a p p y !

例 マチアワセハ 6ジ

7 1 4 2 1 1 0 1 3 4 6 1 * 8 * 8
 マ チ ア ワ セ ハ (空白) (数字切替)
 0 6 * 2 * 2 3 2 0 4
 6 (文字切替) シ `

例 定型文 10「デンワクダサイ」

* 5 1 0

ポケットベル/PHS/携帯電話のドメイン名の登録

テレホン遊遊メールでポケットベル、PHS、携帯電話へショートメッセージを送信するときのサーバのドメイン名とサーバ名を登録します。

設定

- 1 受話器を上げます。
- 2 * * 8 4 * を押します。
- 3 ドメイン名を登録する短縮番号 0 1 ~ 0 8 を入力します。
短縮番号はテレホン遊遊メールを送信する際、次のように指定します。
短縮番号 0 1 送信時 * * 3 1 短縮番号 0 8 送信時 * * 3 8
- 4 * を押したあとにドメイン名を入力します。
メッセージの作成方法と同様に入力します。
最大 40 文字まで入力できます。
- 5 # * を押したあとにサーバ名を入力します。
最大 12 文字まで入力できます。
サーバ名は * * 3 1 ~ * * 3 8 を入力したときに液晶ディスプレイに表示される名前のことで、任意に入力することができます。入力しなくても問題ありません。
- 6 # # を押したあと、受話器を置きます。

電子メールアドレスの登録

テレホン遊遊メールで電子メールを送信するときの電子メールアドレスを短縮番号に登録することができます。

設定

- 1 受話器を上げます。
- 2 * * 8 3 * を押します。
- 3 登録する短縮番号 0 1 ~ 0 9 を入力します。
短縮番号は * * 4 2 * テレホン遊遊メールを送信する際、次のように指定します。
短縮番号 0 1 送信時 1 短縮番号 0 9 送信時 9
- 4 * を押したあとに電子メールアドレスを入力します。
メッセージの作成方法と同様に入力します。
最大 40 文字まで入力できます。
- 5 # # を押したあと、受話器を置きます。

受信した UUI メール参照

UUIメールを受信すると Aterm の MSG ランプがオレンジ色に点滅します。UUIメールは最大 50 件まで保存でき、受信メールを液晶ディスプレイに表示することができます。

使い方

- ① 受話器を上げます。
- ② * * 2 * 2 * を押します。
- ③ 表示するメールの番号 0 1 ~ 5 0 を入力します。
- ④ * を押します。
このとき以下の操作ができます。
 - ① 次ページ表示
 - ② メール番号の確認
 - ③ 次のメールを表示
 - ④ 前のメールを表示
 - ⑤ メール番号選択画面にもどる

* 表示中のメールを削除 (もう一度 * を押すと削除。* 以外を押すとメッセージ画面にもどる。)
- ⑤ 受話器を置きます。



表示しようとしたメールに全角文字がふくまれていると、④のときに「PCメールデス」と表示されます。全角文字がふくまれているメールは、パソコンの「UUIメール EX」を使って内容を確認してください。

受信メールには 01 から順に番号が付けられます。

受信メールが 50 件を超えると古いメールから削除されます。

メールが削除された場合はメール番号が 1 つずつずれます。

第 3 編

A term を活用しよう - 設定編 -

- 1 . Windows 98 / Windows 95 /
Windows NT 4.0 で設定する 172
- 2 . Macintosh で設定する 189
- 3 . 電話機 で設定する 204

1 . Windows[®]98/Windows[®]95/ WindowsNT[®]4.0 で設定する

Windows[®]98/Windows[®]95/WindowsNT[®]4.0でアナログポート
や無線ポート、データポートの詳細設定をします。

らくらくユーティリティをインストールする

▼
アナログポートを設定する

▼
データポートを設定する

▼
無線ポートを設定する

設定値を初期化する

さまざまな情報を見る

Windows[®]98 は Microsoft[®] Windows[®]98 operating system の略です。

Windows[®]95 は Microsoft[®] Windows[®]95 operating system の略です。

WindowsNT[®]4.0はMicrosoft[®] WindowsNT[®] operating system Version 4.0の略です。

1-1 . らくらくユーティリティをインストールする

Aterm を使えるパソコン

Aterm を活用しよう
機能編

Aterm を活用しよう
設定編

困ったときには

付録

索引

『IW50らくらくユーティリティ』をハードディスクにインストールします。『IW50らくらくユーティリティ』は『IW50らくらくウィザード』をインストールすると一緒にインストールされます。『IW50らくらくウィザード』のインストールがお済みでない場合、またはWindows NT®4.0をお使いの方は、第1編「3-2 . Windows®98/Windows®95をご利用の方は」の「らくらくウィザードをインストールする」(P.54)を参照してインストールしてください。

らくらくユーティリティの起動

- 1 **スタート** [プログラム] [Aterm IW50ユーティリティ] [IW50らくらくユーティリティ] を選択します。

[IW50らくらくユーティリティ]画面が表示されます。



設定項目の上にマウスを移動すると、その項目の説明が表示されます。



各設定画面を終了するときには必ず **OK** ボタンをクリックしてください。 **キャンセル** ボタンをクリックすると設定した内容は無効になります。

通話中または着信中のときは設定の登録はできませんので、通話が終わってから操作してください。

データポートを他のアプリケーションで使用しているときは、そのアプリケーションを終了してから『IW50らくらくユーティリティ』を起動してください。

アナログポートが着信中のときに **OK** ボタンをクリックすると、呼出音(着信音)が途切れることがあります。着信中は設定内容を登録することはできません。



設定登録後、Aterm が使用できる状態になるまで30秒程度かかります。

ヘルプ ボタンをクリックすると、各機能の説明を見ることができます。

らくらくユーティリティの終了

- 1 [IW50らくらくユーティリティ]画面の **閉じる** ボタンをクリックします。

- 2 「設定をAtermIW50の不揮発性メモリに書き込みました」と表示されるので、**OK** ボタンをクリックします。

設定した内容が不揮発メモリに記憶されます。

1-2 . アナログポートを設定する

AtermIW50/D に接続したパソコンでアナログポートの設定をします。

アナログポートの設定

- ① [IW50らくらくユーティリティ]画面の「アナログポート」ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。



『IW50らくらくウィザード』または電話機を使ってすでに設定された項目があるときは、その内容が表示されます。

- ② アナログ A ポートを設定するときは [A ポート] アナログ B ポートを設定するときには [B ポート] のタブをクリックします。

ここではアナログ A ポートの設定方法を説明します。アナログ B ポートの設定も同様ですが、「停電時の動作」の設定はありません。

- ③ 各項目を設定します。

着信番号

アナログポートに着信させる電話番号が表示されます。「番号設定」ボタンをクリックし、「電話番号テーブル」画面で設定します。(P.183)

発信者番号通知 (初期値: INS ネット 64 の申込通り)

契約者回線番号またはダイヤルイン番号を相手に通知するかを設定します。発信者番号通知をおこなうときは通知番号が表示されます。「番号設定」ボタンをクリックし、「電話番号テーブル」画面で設定します。(P.183)

接続機器 (初期値: 電話機)

アナログポートに接続した機器を選択します。ファクス付電話機の場合は「FAX またはモデム」を選択します。

キャッチホン (初期値: 使用しない)
INS ネット 64 の付加サービスの「INS キャッチホン」が Aterm の「疑似キャッチホン」機能を利用するかを選択します。

受話音量 (初期値: 音量・中)

通話時に受話器から聞こえる音量を設定します。

情報通知サービス (初期値: 使用しない)

着信した電話番号を電話機に通知するサービスの種類を選択します。「モデム・ダイヤルインを使用する」「アナログ・ダイヤルインを使用する」「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する」を選択した場合は「番号の送出方法」ボタンをクリックし、アナログポートに送出する番号を設定します。

キャッチホン・ディスプレイを使用する場合は「キャッチホン・ディスプレイを使用する」を にし、「ナンバー・ディスプレイを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ+モデムダイヤルインを使用する」を選択します。

停電時の動作 (初期値: 停電時に着信する / リンガ (着信音) を鳴らす)

停電時の着信を設定します。アナログ A ポートのみを設定です。

着信する場合は、リンガ (着信音) を鳴らすかブザーを鳴らすか選択します。「ブザー」に設定すると、停電モード時に着信があると Aterm 内蔵のブザーが鳴ります。ただし「アナログダイヤルインを使用する」に設定している場合は、リンガが鳴ります。

また、ナンバー・ディスプレイやモデム・ダイヤルインを利用している場合は「ブザー」に設定されていると、発信者番号や着信番号が正常に表示されないことがありますので、「リンガ」に設定することをおすすめします。

高度な設定 ボタン

サブアドレスや識別着信などのアナログポートの詳細設定をします。

番号の送出方法

アナログ・ダイヤルインやモデム・ダイヤルインを使用する場合、アナログポートに接続した通信機器に送出する電話番号を設定します。



端末番号の送出方法(初期値:電話番号をそのまま送出)

電話番号をそのままアナログポートに送出するか、電話番号を内線指定番号に変換して送出するかを設定します。

内線指定番号

4桁の数字で任意の番号を設定します。

アナログポートの高度な設定

アナログポートの詳細設定をします。

[アナログポートの設定]画面で

高度な設定 ボタンをクリックします。



サブアドレス(初期値:サブアドレスなし着信する)

サブアドレスを入力し、サブアドレスのない着信を受けるかどうかを設定します。「発・着サブアドレスを通

知する」はナンバー・ディスプレイまたはモデム・ダイヤルインを利用するときに、アナログポートにサブアドレスを通知するかを設定します。

ダイヤル桁間タイマ(初期値:5秒)

ダイヤル桁間タイマを設定します。

フッキング検出タイマ(初期値:普通) フッキング検出時間を「短い」(0.03~1秒)「普通」(0.3~1秒)「長い」(0.5~1.5秒)から選択します。

HLC(高位レイヤ整合性)(初期値:HLCを設定しない)

HLCを設定します。

識別着信(初期値:行わない)

INSネット64の付加サービスの「INSなりわけサービス」を利用して識別着信をおこなうか、Atermの「疑似識別着信」機能を利用するかを選択します。疑似識別着信を利用する場合は「電話帳」ボタンをクリックし、識別着信する電話番号を設定します。(P.184)

通話中に別の着信があったときだけ識別着信する場合は「通話中着信時のみ使用可能」をにします。

識別リングング

INSネット64の付加サービスの「INSなりわけ」かAtermの「疑似なりわけ」機能を利用するかを選択します。疑似なりわけを利用する場合は「電話帳」ボタンをクリックし、識別リングングする電話番号を設定します。(P.184)

リバースパルス(初期値:リバースパルスを送出しない)

リバースパルスを送出するかを設定します。リバースパルスの検出によって通話を終了する機能を持つ電話機のための設定です。留守番電話などで通話が切断されないときは「リバースパルスを送出する」に設定します。

CTI

CTI機能を使用するかどうかを選択します。

アナログポートの共通設定

[アナログポートの設定 画面で「アナログポート共通設定」タブをクリックします。



お出かけ設定(初期値:おやすみモード)お出かけ設定を選択します。

「電話着信転送モード」の場合は「**着信転送設定**」、「ボイスワープ転送モード」の場合は「**ボイスワープ設定**」ボタンをクリックして設定します。

優先着信ポート(初期値:指定しない)優先して着信するポートを選択します。

[#] で発信(初期値:使用する(# で発信動作を行う))

ダイヤル後に [#] を押して発信するか、[#] [#] を押して発信するかを選択します。

アナログポート / 無線ポート共通設定 **共通設定** ボタンをクリックし、アナログポートと無線ポートの共通の設定をします。(P.177)

着信転送設定(i・ナンバーを使用する場合)



着信転送設定(i・ナンバーを使用しない場合)



転送 / 通知モード(初期値:疑似着信転送)

INS ネット 64 の付加サービスの「NTT 着信転送」か Aterm の「疑似着信転送」機能を利用するかを選択します。

また着信を電子メールで通知する「遊遊メール」を利用する場合は「電話番号着信通知」を選択し、「着信転送先メールアドレス」の「BIGLOBE の ID」を入力します。

転送条件(初期値:使用しない(無条件に転送する))

使用しない(無条件に転送する):すべての着信を転送します。

INS なりわけ時に転送する:INS なりわけサービスを利用し、あらかじめ登録した相手の着信のときだけ転送します。

疑似識別着信時に転送する:疑似識別着信機能を利用し、あらかじめ登録した相手の着信のときだけ転送します。

転送設定

着信転送をするときの転送元の電話番号と転送先の電話番号を設定します。各電話番号ごとに転送先の電話番号を指定します。

トークサービス

「転送/通知モード」の「NTT 着信転送」を選択したときのみ、着信転送時に転送トークと転送元トークを送出するかを設定します。疑似着信転送では、転送トークは「なし」のみになります。



転送開始モード

転送を開始するモードを選択します。INSネット64の付加サービス「INSボイスワープ」の契約で起動用電話番号や停止用電話番号が変更された場合は、新たに入力します。通常はこのまま使用します。

契約電話番号

INSボイスワープを契約した電話番号を入力します。

アナログポート / 無線ポートの共通設定

[IW50らくらくユーティリティ]画面で **共通設定** ボタンをクリックします。

[アナログポート共通設定]画面、または[無線ポート共通設定]画面の **共通設定** ボタンをクリックした場合も同様です。



通信中転送(初期値: 使用しない)

通信中転送を使用するかどうかを設定します。

三者通話(初期値: 使用しない)

INSネット64の付加サービスの「三者通話」がAtermの「疑似三者通話」機能を使用するかを選択します。

アナログ/無線ポート間内線通話(初期値: 内線通話・転送を行う)

アナログポートと無線ポートの間で内線通話をするかどうかを選択します。

LCDモード(初期値: 自動(発着信・回線切断時に点灯))

液晶ディスプレイのバックライトの点灯のしかたを選択します。

LCD表示(初期値: 発信時にLCDに番号を表示する)

液晶ディスプレイに番号表示をするかどうかを設定します。「発信時にLCDに番号を表示する」を選択すると、発信時にダイヤル番号を液晶ディスプレイに表示します。

1-3 . データポートを設定する

AtermIW50/D に接続したパソコンでデータポートの設定をします。

データポートの設定

- ① [IW50らくらくユーティリティ]画面の **データポート** ボタンをクリックします。

[データポートの設定]画面が表示されます。



- ② 各項目を設定します。
着信番号

データポートに着信させる電話番号を設定します。**番号設定** ボタンをクリックし、[電話番号テーブル]画面で設定します。(P.183)

発信者番号通知

[電話番号テーブル]画面で設定した通知番号が表示されます。(P.183)

また、契約者回線番号またはダイヤルイン番号を相手に通知するかを設定します。(初期値: INS ネット 64 の申込通り)

高度な設定 ボタン

データポートの詳細設定をします。

データポートの高度な設定

データポートの詳細設定をします。
[データポートの設定]画面で **高度な設定** ボタンをクリックします。



サブアドレス

サブアドレスを入力します。またサブアドレスのない着信を受けるかどうかを設定します。(初期値: サブアドレスなし着信する)

識別着信(初期値: 行わない)

識別着信を行うかどうかを設定します。識別着信をする場合は **電話帳** ボタンをクリックし、識別着信する電話番号を設定します。(P.184)

HLC(高位レイヤ整合性)(初期値: HLCを設定しない)

HLCを設定するかどうかを設定します。

MP・BOD 機能の設定

マルチリンクPPP、BODの設定をします。
[データポートの設定] 画面で [MP・BOD機能] タブをクリックします。



- MP の 2 本目接続時の認証
128kbps マルチリンク PPP 通信をおこなうときに認証をするかどうかを選択します。
- 64kPPP・MP 時の ACCM の付加
64kPPP、128kbps マルチリンク PPP 通信時に ACCM を付加するかどうかを選択します。
- リソース BOD
リソースBODをおこなう場合 にします。
- スループット BOD
スループット BOD をおこなう場合は にし、算出時間としきい値を設定します。

自動切断タイマの設定

データ通信時の切断タイマの設定をします。
[データポートの設定] 画面で [自動切断] タブをクリックします。



- 無通信監視タイマ (初期値: 監視する・10 分)
通信を監視するかどうかを設定します。「監視する」に設定した場合は時間を指定します。
- 強制切断タイマ (初期値: 切断する・10 分)
切断するかどうかを設定します。「切断する」に設定した場合は時間を指定します。

信号線の設定

[データポートの設定] 画面で [信号制御] タブをクリックします。通信ソフトウェアで設定するので、特に設定する必要はありません。



電子メールの設定

UIメールや電子メール着信通知の設定をします。

[データポートの設定]画面で[電子メール] タブをクリックします。



UIメール着信時のランプの点滅（初期値：UIメール着信時にランプを点滅させる）

UIメール着信時にランプを点滅させるかどうかを設定します。

電子メール着信通知時のランプの点滅（初期値：電子メール着信通知時にランプを点滅させる）

電子メール着信通知時にランプを点滅させるかどうかを設定します。

データポートへのUI通知モード

データポートでUIメールおよび電子メール着信通知を受信するかどうかを設定します。無線ポートのみで受信する場合は「データポートに通知しない」を選択します。

その他の設定

[データポートの設定]画面で[その他] タブをクリックします。



応答平均化（初期値：平均化しない）

応答平均化するかどうかを設定します。「平均化する」を選択した場合は、1本のINSネット64に接続しているAtermの台数を入力します。

スティルスコールバック（初期値：スティルスコールバックを行わない）

スティルスコールバックをするかどうかを設定します。

サブアドレス・セパレータ（初期値：/）

サブアドレスを付けて発信するときの発信アドレスとサブアドレスを区切る記号を、「/」「#」「*」の中から入力します。

PIAFS 通信時の V.42bis データ圧縮（初期値：V.42bis データ圧縮を行う）

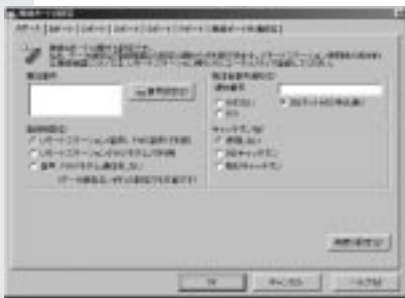
V.42bisデータ圧縮をするかどうかを設定します。

1-4 . 無線ポートを設定する

AtermIW50/Dに接続したパソコンで無線ポートの設定をします。

無線ポートの設定

- 1 [IW50らくらくユーティリティ]画面の
無線ポート ボタンをクリックします。
[無線ポートの設定]画面が表示されます。



- 2 設定する無線ポート(A～Fポート)の
タブをクリックします。
- 3 各項目を設定します。

着信番号

無線ポートに着信させる電話番号が表示されます。[番号設定] ボタンをクリックし、[電話番号テーブル]画面で設定します。(P.183)

発信者番号通知(初期値:INS ネット 64の申込通り)

契約者回線番号またはダイヤルイン番号を相手に通知するかを設定します。発信者番号通知をおこなうときは通知番号が表示されます。[番号設定] ボタンをクリックし、[電話番号テーブル]画面で設定します。(P.183)

登録機器(初期値:リモートステーション (音声)、PHS(音声)で利用)

無線ポートに接続した機器を選択します。データ通信はいずれの設定でも可能です。

リモートステーション(音声)、PHS(音声)で利用: PHSを接続する場合やリモートステーションを接続してアナログポートに電話機を接続する場合に選択します。

リモートステーション(FAX/モデム)で利用: リモートステーションを接続し、かつアナログポートにFAXや高速データモデムを接続する場合に選択します。この設定で着信したときは、他の無線ポートとの内線通話や内線転送はできません。

音声、FAX/モデム通信をしない: PHS+データカードやリモートステーションでアナログポートを使用しない場合に選択します。

キャッチホン(初期値:使用しない)
INS ネット 64 の付加サービスの「INSキャッチホン」がAtermの「疑似キャッチホン」機能を使用するかどちらも使用しないかを選択します。

無線ポートの高度な設定

無線ポートの詳細設定をします。
[無線ポートの設定]画面で
[高度な設定] ボタンをクリックします。



サブアドレス

サブアドレスを入力します。

ダイヤル桁間タイマ (初期値: 5 秒)
PHS からの分割発信 (**通話**) ボタン
を押してからダイヤルする方法)
時の、ダイヤル操作間の受付時間を
選択します。

データ発信モード (初期値: プロトコル
変換モード (同期 64k))
ワイヤレスデータ通信の発信時の
モードを選択します。

データ着信モード (初期値: PIAFS
32k)
ワイヤレスデータ通信の着信時の
モードを選択します。

識別着信

INS ネット 64 の付加サービスの
「INS なりわけサービス」を利用して
識別着信をおこなうか、Aterm の
「疑似識別着信」機能を利用するか
を選択します。疑似識別着信を利用
する場合は **電話帳** ボタンをクリッ
クし、識別着信する電話番号を設定
します。(P.184)

通話中に別の着信があったときだけ
識別着信する場合は「通話中着信時
のみ使用可能」を にします。

スタイルスコールバック

スタイルスコールバックをするかど
うかを設定します。

CTI

CTI 機能を使用するかどうかを選択
します。

UII 通知モード

UIIメールの着信通知をするかを選
択します。

無線ポート共通設定

[無線ポートの設定]画面で「無線ポート
共通設定」タブをクリックします。



外線データ通信の優先着信ポート (初
期値: データポート)

データ通信を優先して着信するポ
ートを選択します。

アナログポート / 無線ポート共通設定

[共通設定] ボタンをクリックし、ア
ナログポートと無線ポートの共通
の設定をします。(P.177)

1-5 . 電話番号を設定する

電話番号テーブル

契約者回線番号やダイヤルイン番号、グローバル着信の設定をします。

[IW50らくらくユーティリティ]画面の[番号テーブル]ボタンをクリックします。

[電話番号テーブル]画面が表示されます。

i・ナンバーを使用しない場合



i・ナンバーを使用する場合



i・ナンバー

i・ナンバーを使用するかどうかを選択します。

アナログポート / データポートのグローバル着信(初期値: 契約者回線番号でグローバル着信する)

契約者回線番号でグローバル着信をするかどうかを選択します。(i・ナンバーを使用する場合はこの項目はありません。)

無線ポートのグローバル着信

[グローバル着信の設定]ボタンをクリックし、無線ポートのグローバル着信の設定をします。(i・ナンバーを使用する場合はこの項目はありません。)

電話番号

契約者回線番号、ダイヤルイン番号を入力します。

内線指定番号

アナログ・ダイヤルインを使用するときの内線指定番号を入力します。(i・ナンバーを使用する場合のみ)

着信ポート

電話番号ごとに、どのポートを呼び出すか設定します。複数のポートを選択できます。

通知番号

発信時に通知する電話番号をポートごとに設定します。

グローバル着信の設定

無線ポートのグローバル着信の設定をします。



Atent を使えない
Telephone

Atent を活用しよう
機能編

Atent を活用しよう
設定編

困ったときには

付録

索引

音声通信のグローバル着信時の呼び出し（初期値：全端末一斉）

音声通信（電話やファクス、モデム）の着信のとき、グローバル着信を契約した契約者回線番号で無線ポートを一斉呼出すか特定の1台を呼び出すかを選択します。

「全端末一斉」を選択すると、無線ポートの設定で「登録機器」（P.181）を「使用しない」に指定した端末もすべてグローバル着信時に呼び出されます。

データ通信のグローバル着信時の呼び出し（初期値：呼び出さない）

データ通信の着信のとき、グローバル着信を契約した契約者回線番号でどの無線ポートを呼び出すかを選択します。データ通信では、データポートと無線ポートを同時に呼び出すことはできません。

電話帳の登録

短縮ダイヤル、マイプライベート着信、疑似識別着信、疑似なりわけ、迷惑電話防止機能を使用するときに必要な電話番号を登録します。

① [IW50 らくらくユーティリティ] 画面の **電話帳** ボタンをクリックします。

[電話帳] 画面が表示されます。

② 電話番号を設定する機能のタブをクリックします。

短縮ダイヤル / 疑似識別着信 / 疑似なりわけ

短縮ダイヤル、疑似識別着信、疑似なりわけに登録する電話番号を入力します。



- ① 登録する番号を選択します。
- ② 「名前」をクリックし、相手の名前を入力します。
- ③ 「電話番号」をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや括弧()は入力する必要はありません。
- ④ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。
- ⑤ **更新** ボタンをクリックします。

指定した番号に登録されます。

マイプライベート着信
マイプライベート着信に登録する電話番号を入力します。



- ① 「マイプライベート着信を使用する」を にします。
- ② 登録する番号を選択します。
- ③ 「名前」をクリックし、相手の名前を入力します。
- ④ 「電話番号」をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや括弧()は入力する必要はありません。
- ⑤ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。
- ⑥ 電話番号を通知してこない相手からの着信も対象とする場合は、「非通知」「表示圏外」「公衆」を にします。
- ⑦ 呼び分けるポートを選択します。
- ⑧ **更新** ボタンをクリックします。

迷惑電話防止
迷惑電話に登録する電話番号を入力します。



- ① 登録する番号を選択します。
- ② 「名前」をクリックし、相手の名前を入力します。
- ③ 「電話番号」をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや括弧()は入力する必要はありません。
- ④ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。
- ⑤ 電話番号を通知してこない相手からの着信を迷惑電話とする場合は、「非通知」「表示圏外」「公衆」を にします。
- ⑥ **更新** ボタンをクリックします。

1-6 . さまざまな情報を見る

『IW50 らくらくユーティリティ』で Aterm の通信状況を見ることができます。

通信状況の表示

[IW50 らくらくユーティリティ] 画面で現在の通話料金や発着信の情報を見ることができます。



Aterm が接続されている COM ポート
現在までのポートごとの電話料金の累計
直前の通信料金
最新の着信電話番号
最新の発信電話番号
累積クリア ボタン
累積料金を 0 円にします。

高度な情報 ボタン
[高度な情報] 画面が表示され、INS
ネット 64 から通知された情報が確
認できます。



切断理由・生成源

切断理由と生成源をコード番号で表示します。(第 5 編「切断理由 / 診断情報 / 生成源表示一覧」(P.315))

レイヤ

INS ネット 64 回線のレイヤ 1、レイヤ 2 の同期がとれているかを表示します。

正常のときは緑色、異常のときは灰色で表示されます。

パソコン信号線の状態

信号線が ON のときは緑色、OFF のときは灰色で表示されます。

着信判定要因

ポートごとにコード番号で表示します。(第 5 編「切断理由 / 診断情報 / 生成源表示一覧」(P.317))



情報を表示している間は通信はできません。

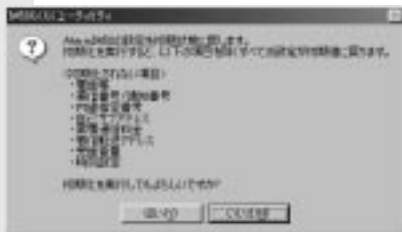
1-7 . 設定値を初期化する

IW50 らしくらくユーティリティで設定した内容を初期値にもどします。初期化を実行すると、画面に表示された項目以外のすべての項目が初期値になります。

設定値の初期化

- 1 『IW50 らしくらくユーティリティ』を起動し、[IW50 らしくらくユーティリティ]画面の **[初期化]** ボタンをクリックします。

初期化の確認画面が表示されます。



- 2 **[はい]** ボタンをクリックします。
初期化が始まります。
10 秒程で初期化が終了します。

- 3 次の画面が表示されるので、**[OK]** ボタンをクリックします。

i・ナンバーを使用している場合



i・ナンバーを使用していない場合



[電話番号テーブル]画面が表示されます。

- 4 必要に応じて電話番号テーブルを設定します。

1-8 .らくらくユーティリティの削除

パソコンにインストールした『IW50らくらくユーティリティ』をハードディスクから削除します。

アンインストーラの実行

『ユーティリティのアンインストール』を実行します。
らくらくユーティリティを使って設定した内容はAtermの不揮発メモリに記憶されているため、削除してもそれまでと同様にAtermを使うことができます。

- 1 **スタート** [プログラム] [Aterm IW50 ユーティリティ] [ユーティリティのアンインストール]を選択します。



「アンインストールしてよろしいですか?」と表示されます。



- 2 **はい** ボタンをクリックします。
アンインストールが実行されます。
- 3 **OK** ボタンをクリックします。

2 . Macintosh で設定する

Macintosh でアナログポートや無線ポート、データポートの詳細設定をします。

らくらくユーティリティをインストールする



アナログポートを設定する



無線ポートを設定する



データポートを設定する

設定値を初期化する

さまざまな情報を見る

2-1 . らくらくユーティリティをインストールする

『IW50 らくらくユーティリティ』をハードディスクにインストールします。
インストールの手順は第1編「3-3 . Macintoshをご利用の方は」の「らくらくユーティリティをインストールする」(P.65)を参照してください。

らくらくユーティリティの起動

- 1 ハードディスクの中の「IW50ユーティリティ」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「IW50 らくらくユーティリティ」のアイコンをダブルクリックします。
[AtermIW50 らくらくユーティリティ簡易設定] 画面が表示されます。



通話中または着信中のときは設定の登録はできませんので、通話が終わってから操作してください。

データポートを他のアプリケーションで使用しているときは、そのアプリケーションを終了してから『IW50 らくらくユーティリティ』を起動してください。

『IW50 らくらくユーティリティ』の設定を終えるときは必ず **はい** ボタンをクリックしてください。設定した内容はAtermのフラッシュメモリに書き込まれるので、電源を切っても設定値は消えません。

アナログポートが着信中のときに **登録** ボタンをクリックすると、呼出音(着信音)が途切れることがあります。着信中は設定内容を登録することはできません。



設定登録後、Aterm が使用できる状態になるまで30秒程度かかります。

ヘルプ ボタンをクリックすると、各機能の説明を見ることができます。

2-2 . アナログポートを設定する

パソコンでアナログポートの詳細設定をします。基本的な設定については第1編「3-3 .Macintoshをご利用の方は」(P.65)を参照の上、設定を終わらせておいてください。

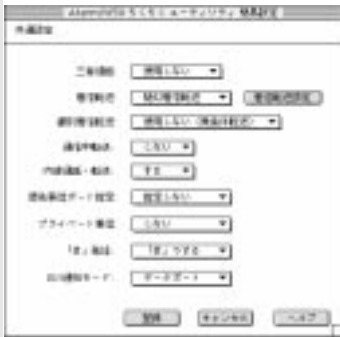
共通設定

アナログポートに共通する設定を登録します。

① [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定]画面の **共通設定** ボタンをクリックします。

[共通設定]画面が表示されます。

② 各項目を設定します。



三者通話 (初期値: 使用しない)

契約者回線番号でグローバル着信をするかどうかを設定します。INS ネット64の付加サービスの「NTT三者通話」か、Atermの機能の「疑似三者通話」を利用するかを選択します。

着信転送 (初期値: 疑似着信転送)

INS ネット64の付加サービスの「NTT着信転送」か、Atermの機能の「疑似着信転送」か「電話番号着信通知」を利用するかを選択します。着信転送を利用する場合は **着信転送設定** ボタンをクリックし、着信転送先や転送トキサービスを設定します。(P.192)

識別着信転送 (初期値: 使用しない(無条件転送))

識別着信の条件を選択します。

通信中転送 (初期値: 無効)

通信中の転送を有効とすることがどうかを設定します。

内線通話・転送 (初期値: 有効)

内線通話・転送を有効とすることがどうかを設定します。

優先着信ポート指定(初期値: 指定しない)

優先して着信させるポートを選択します。

プライベート着信(初期値: 使用しない)

マイプライベート着信を使用するかどうかを設定します。

「#」発信 (初期値: 「#」でする)

電話番号をダイヤルしたあとに **#** を押して発信するか、**#** **#** を押して発信するかを選択します。

UII通知モード(初期値: データポート)

データポートでUIIメールおよび電子メール着信通知を受信するかどうかを設定します。

③ **登録** ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定]画面にもどりませう。

着信転送設定

① [アナログポート共通登録]画面で
着信転送設定 ボタンをクリックします。

② 各項目を設定します。

i・ナンバーを使用しない場合



i・ナンバーを使用する場合



着信転送先選択

着信転送先番号(0)~(2)(i・ナンバー使用の場合は「i・ナンバー情報 1」「i・ナンバー情報 2」)を選択します。

着信転送元番号

着信転送するときの転送元の電話番号を選択します。

着信転送先番号

転送先の電話番号を入力します。

転送トーカーサービス(初期値:転送トーカーなし、転送元トーカーなし)

着信転送時に転送トーカーと転送元トーカーを送出するかを設定します。疑似着信転送では転送トーカーは「なし」のみになります。着信転送で「電話番号着信通知(遊遊メール)」を選択した場合は、ここにドメインネームを入力します。

③ [登録] ボタンをクリックします。

[アナログポート共通登録]画面にもどります。

短縮・識別番号の登録

短縮ダイヤル番号、マイプライベート着信番号、疑似識別着信番号、疑似なりわけ番号、迷惑電話防止番号を登録します。

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定]画面で「電話番号登録」ボタンをクリックします。
- 2 番号の登録をする機能を選択します。



短縮ダイヤル番号 / マイプライベート着信番号 / 疑似識別着信番号 / 疑似なりわけ番号

登録する番号をクリックしてから「相手の名前」「相手アドレス」「相手サブアドレス」を入力します。



迷惑電話防止番号

「相手アドレス」に迷惑電話を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



- 3 「登録」ボタンをクリックします。
[AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定]画面にもどります。

お出かけ設定

- ① [AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定]画面で「お出かけ設定」ボタンをクリックします。



- ② お出かけモードを選択します。

INS ネット 64 の付加サービスの「INSボイスワープ」を利用する場合は、お申込票の内容に従って転送条件の選択と起動用契約者番号を入力します。



- ③ 「登録」ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定]画面にもどります。

アナログポートの詳細設定

アナログポートのさまざまな機能の設定をします。

- ① [AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定]画面の「詳細設定」ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 詳細設定]画面が表示されます。



- ② 「アナログ A ポート登録」(または「アナログ B ポート登録」)ボタンをクリックします。

- ③ 各項目を設定します。



識別着信(初期値: 使用しない)

INS ネット 64 の付加サービスの「INSなりわけ」か、Atermの機能の「疑似識別着信」を利用するかを選択します。「疑似識別着信」を利用する場合は「番号登録」ボタンをクリックし「疑似識別着信番号」の登録をします。(「短縮・識別番号の登録」 P.193)

識別リング (初期値: 使用しない)
INS ネット 64 の付加サービスの「INS なりわけ」か、Aterm の機能の「疑似なりわけ」を利用するかを選択します。「疑似なりわけ」を利用する場合は **番号登録** ボタンをクリックし「疑似なりわけ番号」の登録をします。(「短縮・識別番号の登録」 P.193)

サブアドレスなしで着信 (初期値: 有効)
サブアドレスのない着信を受けるかどうかを設定します。

HLC 設定 (高位レイヤ整合性) (初期値: 無効)
HLC (高位レイヤ整合性) を有効とするかどうかを設定します。

ダイヤル桁間タイマ (初期値: 5 秒)
ダイヤル桁間タイマの時間を「5 秒」「9 秒」「11 秒」「13 秒」から選択します。

フッキング検出タイマ (初期値: 普通)
フッキング検出時間を「短い (0.03 ~ 1 秒)」「普通 (0.3 ~ 1 秒)」「長い (0.5 ~ 1.5 秒)」から選択します。

リバースパルス送出 (初期値: しない)
リバースパルスを送出するかを設定します。リバースパルスの検出によって通話を終了する機能を持つ電話機のための設定です。留守番電話などで通話が切断されないときは「リバースパルスを送出する」に設定します。

情報通知サービス (初期値: 使用しない)
着信した電話番号を電話機に通知するサービスの種類を選択します。
ナンバー・ディスプレイ: ナンバー・ディスプレイ対応電話機を使用する場合に選択します。
モデム・ダイヤルライン: モデム・ダイヤルラインを使用する場合に選択します。
アナログ・ダイヤルライン: アナログ・ダイヤルラインを使用する場合に選択します。
ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルライン: ナンバー・ディスプレイとモデム・ダイヤルラインを同時に使用する場合に選択します。

発・着サブアドレス通知 (初期値: 無効)
「情報通知サービス」でナンバー・ディスプレイまたはモデム・ダイヤルラインを選択した場合でサブアドレスを通知する再、発信・着信時にサブアドレスを通知するかどうかを指定します。

停電モード (初期値: リンガが鳴る)
停電時にリンガを鳴らすかブザーを鳴らすか着信しないかを選択します。なお「情報通知サービス」でアナログダイヤルラインを選択している場合はリンガが鳴ります。またナンバー・ディスプレイやモデム・ダイヤルラインを選択している場合に「ブザーが鳴る」に設定していると、発信者番号や着信番号が正常に表示されないことがありますので、「リンガが鳴る」に設定してください。

4

登録 ボタンをクリックしてから **キャンセル** ボタンをクリックします。

[AtermIW50 らしくくユーティリティ 詳細設定] 画面にもどります。

5

簡易設定へ戻る ボタンをクリックします。

[AtermIW50 らしくくユーティリティ 簡易設定] 画面にもどります。

6

[ファイル] [終了] を選択し、**はい** ボタンをクリックします。

設定した内容が Aterm の不揮発メモリに書き込まれ、「IW50 らしくくユーティリティ」が終了します。

2-3 . 無線ポートを設定する

無線 A ~ F ポートの設定をします。

無線ポートの設定

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定] 画面の「無線ポート登録」ボタンをクリックします。
- 2 「INSネット64お申込票」を参照し、無線ポートの登録をします。



無線 A (~ F) ポート

接続している機器を選択します。

電話 (PHS): PHS 電話機を登録して使用する、またはリモートステーションに電話機を接続する場合に選択します。

リモートステーション (FAX/モデム): AtermRS20 などをリモートステーションとして使用し、ファクスやモデムを接続して使用する場合に選択します。

使用しない、またはデータ専用: 無線ポートを使用しない場合、またはリモートステーションにパソコンのみを接続する場合に選択します。

キャッチホン (初期値: 使用しない)

INSネット64のINSキャッチホン機能を利用する場合は「INSキャッチホン」、Atermの機能を利用する場合は「疑似キャッチホン」を選択します。

通知 / 着信番号設定 ボタン

電話をかけたときに相手に番号を通知する場合は、その番号を登録します。

- 3 「登録」ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定] 画面にもどります。

無線ポートの詳細設定

無線ポートのさまざまな機能の設定をします。

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ簡易設定] 画面の「詳細設定」ボタンをクリックします。



- 2 「無線ポート登録」ボタンをクリックします。
- 3 設定する無線ポート A ~ F を選択します。
- 4 各項目を設定します。



ダイヤル桁間タイマ (初期値: 5 秒)

ダイヤル桁間タイマの時間を「5 秒」「9 秒」「11 秒」「13 秒」から選択します。

発信者番号通知(初期値:発信者番号通知設定しない)

電話をかけたときに相手に番号を通知するかどうかを指定します。

データ発信モード(初期値:プロトコル変換モード)

ワイヤレスデータ通信での発信時のモードを選択します。

データ着信モード(初期値:PIAFS 32k)

ワイヤレスデータ通信での着信時のモードを選択します。

識別着信設定(初期値:使用しない)

INS ネット 64 の付加サービスの「INS なりわけ」か、Aterm の機能の「疑似識別着信」を利用するかを選択します。「疑似識別着信」を利用する場合は **番号登録** ボタンをクリックし「疑似識別着信番号」の登録をします。(「短縮・識別番号の登録」 P.193)

UUIメール通知(初期値:しない)

UUIメールが着信したときの通知をデータポートでおこなうか無線ポートでおこなうかを選択します。

スタイルスコールバック(初期値:しない)

スタイルスコールバックをするかどうかを選択します。

CTI(初期値:しない)

CTI 機能を使用するかどうかを選択します。

5

登録 ボタンをクリックしてから **キャンセル** ボタンをクリックします。

[AtermIW50 らくらくユーティリティ 詳細設定] 画面にもどります。

6

簡易設定へ戻る ボタンをクリックします。

[AtermIW50 らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面にもどります。

2-4 . データポートを設定する

パソコンでデータポートの設定をします。

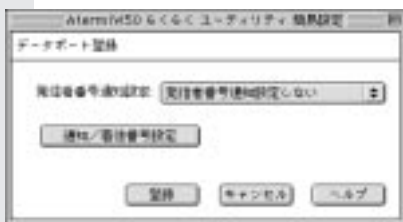
データポートの共通設定

データポートに共通する設定を登録します。

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面の **データポート共通登録** ボタンをクリックします。

[データポート共通登録] 画面が表示されます。

- 2 各項目を設定します。



発信者番号通知設定 (初期値: 発信者番号通知設定しない)

電話をかけたときに相手に番号を通知するかどうかを指定します。通知する場合は **通知/番号設定** ボタンをクリックし、通知する番号を登録します。

- 3 **登録** ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面にもどります。

データポートの詳細設定

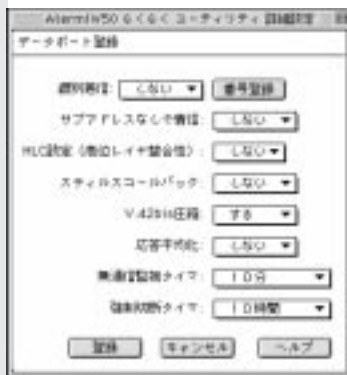
データポートのさまざまな機能の設定をします。

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面の **詳細設定** ボタンをクリックします。



- 2 **データポート登録** ボタンをクリックします。

- 3 各項目を設定します。



識別着信 (初期値: しない)

識別着信を有効とするか無効とするかを選択します。有効にする場合は **番号登録** ボタンをクリックし「疑似識別着信番号」の登録をします。(「短縮・識別番号の登録」 P.193)

サブアドレスなしで着信(初期値:しない)
サブアドレスのない着信を受けるかどうかを設定します。

HLC設定(高位レイヤ整合性)(初期値:しない)

HLC(高位レイヤ整合性)を有効とするかどうかを設定します。

スティルスコールバック(初期値:しない)
スティルスコールバックをするかどうかを設定します。

V.4.2bis 圧縮(初期値:する)

V.4.2bisデータ圧縮をするかどうかを設定します。

応答平均化(初期値:しない)

応答の平均化をするかどうかを設定します。

無通信監視タイマ(初期値:10分)

通信を監視するかどうかを設定します。監視する場合は監視時間を選択します。

強制切断タイマ(初期値:10時間)

一定時間経過したら通信を強制的に切断するかどうかを設定します。強制切断する場合は切断するまでの時間を選択します。

4 **登録** ボタンをクリックしてから
キャンセル ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 詳細設定]画面にもどります。

5 **簡易設定へ戻る** ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定]画面にもどります。

BOD 機能の設定

1 [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定]画面の**詳細設定** ボタンをクリックします。

2 **BOD 機能設定** ボタンをクリックします。

3 各項目を設定します。



リソース BOD(初期値:しない)

リソース BODを使用するかどうかを設定します。

スループット BOD(初期値:しない)

スループット BODを使用するかどうかを設定します。使用する場合はパラメータを設定します。

4 **登録** ボタンをクリックしてから
キャンセル ボタンをクリックします。

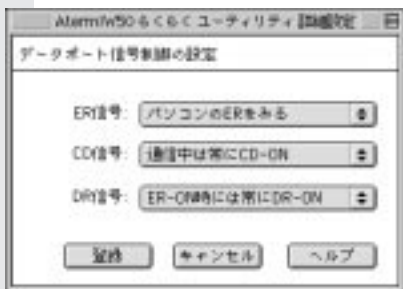
[AtermIW50らくらくユーティリティ 詳細設定]画面にもどります。

5 **簡易設定へ戻る** ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定]画面にもどります。

データポートの信号制御の設定

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面の **詳細設定** ボタンをクリックします。
- 2 **データポート信号制御設定** ボタンをクリックします。
- 3 各項目を設定します。



ER信号(初期値:パソコンのERをみる)

CD信号(初期値:通信中は常にCD-ON)

DR 信号 (初期値 : ER-ON 時には常にDR-ON)

- 4 **登録** ボタンをクリックしてから **キャンセル** ボタンをクリックします。
[AtermIW50らくらくユーティリティ 詳細設定] 画面にもどります。

- 5 **簡易設定へ戻る** ボタンをクリックします。
[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面にもどります。

2-5 . 設定値を初期化する

IW50らくらくユーティリティで設定して不揮発メモリに記憶された内容を、工場出荷時の状態にもどします。初期化を実行するとすべての項目が初期値になります。

設定値の初期化

- 1 [AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] 画面の **初期化** ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。



- 2 **OK** ボタンをクリックします。
設定が初期化されます。

2-6 . ささまざまな情報を見る

IW50 らしくらくユーティリティで Aterm の通信状況を見ることができます。

通信状況の表示

① [AtermIW50 らしくらくユーティリティ 簡易設定] 画面の [各種情報表示] ボタンをクリックします。

[AtermIW50 らしくらくユーティリティ 情報表示] 画面が表示されます。



[AtermIW50 らしくらくユーティリティ 詳細設定] 画面の [各種情報表示] ボタンをクリックしても同じ画面が表示されます。

② 見たい情報を選択します。

回線状態・信号線・切断理由表示

回線の状態や切断理由を表示します。[更新] ボタンをクリックすると、現在の回線状態が表示されます。(P.315)



通信料金表示

直前の通信と累計の電話料金を表示します。累積料金を 0 にするときは [クリア] ボタンをクリックします。



着信情報表示

最新の着信電話番号や着信拒否要因を表示します。



発信番号表示

最新の発信ポートや発信先の電話番号を表示します。





終了 ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 情報表示] 画面にもどります。



簡易設定へ戻る または **詳細設定へ戻る** ボタンをクリックします。

[AtermIW50らくらくユーティリティ 簡易設定] または [AtermIW50らくらくユーティリティ 詳細設定] 画面にもどります。



お知らせ

詳細は **ヘルプ** ボタンをクリックして確認してください。
情報を表示している間は通信はできません。

3 . 電話機で設定する

Atermの液晶ディスプレイを見ながら電話機のプッシュボタンを使って設定します。

アナログポート / 無線ポートを設定する



その他の設定をする

Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。

Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。

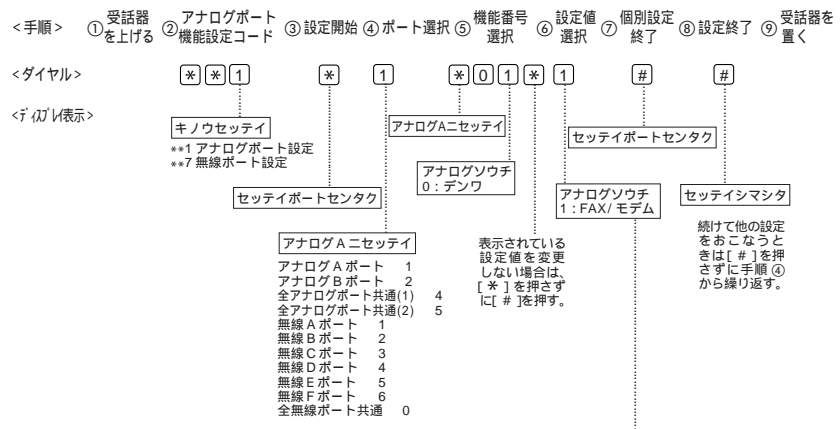
WindowsNT®4.0 は Microsoft® WindowsNT® operating system Version 4.0 の略です。

3-1 . アナログポート / 無線ポートを設定する

『らくらくテレホン設定』で Aterm のアナログポートと無線ポートの設定をすることができます。『らくらくテレホン設定』ではパソコンを使わずに、Aterm の液晶ディスプレイを見ながら電話機で操作します。パソコンを接続している場合は、「1 . Windows®98 / Windows®95 / WindowsNT®4.0 で設定する」(P.172) または 「2 . Macintosh で設定する」(P.189) を参照して設定することをおすすめします。

設定のしかた

手順⑤と⑥の機能番号と設定値については、「設定項目一覧」(P.206) をご覧ください。ここでは、手順⑤と⑥については「アナログAポートをアナログポート接続機器選択でFAX / モデムに設定する」場合を示します。



次の場合は、手順⑥が右記のようになります。

- 情報通知サービス
- 着信転送
- 着信番号
- マイプライベート着信
- i・ナンバー情報の電話番号

右記では「情報通知サービスのナンバー・ディスプレイを選択し、情報通知サービス時のサブアドレスをつけるに設定する」場合を示します。

⑥ 設定値・追加設定値選択

1 # * 1

ジョウホウツウチ
1: ナンバーディスプレイ

ジョウホウ(サブ)
1: ツケル

ジョウホウ(サブ)
0: ツケナイ

ジョウホウ(サブ)
1: ツケナイ

点滅



設定をおこなう電話機以外は、受話器を置いた状態にしてください。



アナログAポート、アナログBポートに接続されている電話機から操作できます。設定途中で受話器を置くと、設定はキャンセルされます。はじめからやり直してください。日付・時刻の代わりに機種名を表示することもできます。受話器を上げて次の操作をします。

日付・時刻表示・・・[*][*][8][1][1]を押します。

機種名表示……………[*][*][8][1][0]を押します。

電話機独自の機能で既に[*][*][1]を使用しているときは、『らくらくテレホン設定』で設定できません。

[*][*][1]が使用できるかどうかは、電話機メーカーにお問い合わせください。

設定項目一覧

個別アナログポート / 無線ポート設定

* アナログポートのみの機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
接続/登録機器選択	01	電話(音声)	0
		FAX/モデム	1
		なし	2
キャッチホン	02	使用しない	0
		INSキャッチホン	1
		疑似キャッチホン	2
識別着信*	03	使用しない	0
		INSなりわけ識別着信	1
		疑似識別着信	2
		INSなりわけキャッチホン/選択キャッチホン	3
		疑似キャッチホン/選択キャッチホン	4
HLC*	04	使用しない	0
		使用する	1
		使用するが着信判定しない	2
グローバル着信*	05	着信する	0
		着信しない	1
サブアドレスなし着信*	06	着信する	0
		着信しない	1
ダイヤル桁間タイム	07	5秒	0
		9秒	1
		11秒	2
		13秒	3
フッキング検出タイム*	08	0.03~1秒	0
		0.3~1秒	1
		0.5~1.5秒	2

機能	機能番号	設定内容	設定値
発信者番号通知	09	通知しない	0
		通知する	1
		INSネット64の申込内容に従う	2
受話音量*	12	小	0
		中	1
		大	2
リバースパルス送出*	13	送出しない	0
		送出する	1
通話中の受話音量変更*	14	変更しない (*#無効)	0
		変更する (*#有効)	1
識別リング*	15	使用しない	0
		INSなりわけ	1
		疑似なりわけ	2
キャッチホン・ディスプレイ	18	使用しない	0
		使用する	1
着信番号選択	91	8件の着信番号から選択 選択: 0 次頁: 1 選択番号確認: 2 次番号参照: 3 前番号参照: 4	-
相手に通知する電話番号(ダイヤルインサービスのとき)	92	32桁まで (0~9のみ使用)	0~9
サブアドレス	93	19桁まで (0~9のみ使用)	0~9
着信ポート	94	i・ナンバー情報1	1
		i・ナンバー情報2	2
相手に通知する電話番号(i・ナンバーのとき)	95	i・ナンバー情報1	1
		i・ナンバー情報2	2

アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインを使用する(アナログポートのみ)場合は、内線指定番号を設定します。(通常は設定する必要はありません。)

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
情報通知サービス*	10	しない	0	-		
		ナンバー・ディスプレイ	1	情報通知サービス時のサブアドレス	つけない	0
		モデム・ダイヤルイン	2		つける	1
		アナログ・ダイヤルイン	3	-		
		ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルイン	4	情報通知サービス時のサブアドレス	つけない	0
		つける	1			

ATerm を使えるようにする

ATerm を活用しよう
機能編

ATerm を活用しよう
設定編

困ったときには

付録

索引

全アナログポート共通設定(1) / 無線ポート共通設定

* アナログポートのみの機能 ** 以外は無線ポートの設定でもアナログポートで設定してください。

機能	機能番号	設定内容	設定値
無線ポート呼出**	21	全端末一斉呼出	0
		無線Aポート	1
		無線Bポート	2
		無線Cポート	3
		無線Dポート	4
		無線Eポート	5
		無線Fポート	6
		呼び出さない	7
停電時の着信(Aポートのみ)*	22	着信ブザー	0
		着信リング	1
		着信なし	3
優先着信ポート1)*	23	優先なし	0
		Aポート優先	1
		Bポート優先	2
内線通話/内線転送	24	使用しない	0
		使用する	1
三者通話	25	使用しない	0
		三者通話	1
		疑似三者通話	2
通信中転送	26	使用しない	0
		使用する	1
選択着信転送	28	無条件転送	0
		INSなりわけ機能による転送	1
		識別着信転送	2

機能	機能番号	設定内容	設定値
着信転送先アドレス	30	着信転送先(0)/i・ナンバー情報1	0~9
	31	着信転送先(1)/i・ナンバー情報2	
	32	着信転送先(2)	
電話番号転送先メールアドレス	35	転送先メールアドレス(0)	英数字記号3)
	36	転送先メールアドレス(1)	
	37	転送先メールアドレス(2)	
着信転送元アドレス/サブアドレス ²⁾	40	着信転送元(0)	0~9
		i・ナンバー情報1	1, 2
	41	着信転送元(1)	0~9
		i・ナンバー情報2	1, 2
	42	着信転送元(2)	0~9
	43	着信転送元サブアドレス(0)	0~9
	44	着信転送元サブアドレス(1)	0~9
45	着信転送元サブアドレス(2)	0~9	
短縮・識別番号	50~59	アドレス部分	0~9
	60~69	サブアドレス部分	0~9
累積料金表示**	70	累積料金クリア	1
発信時アドレス表示	71	表示しない	0
		表示する	1

- 1) 「使用しない」に設定したアナログポートの選択はできません。
- 2) あわせて着信番号の設定もしてください
- 3) 英数字記号は、第2編「2-3. Atermのメール機能を利用するとき」の「メッセージの作成のしかた」(P.165)を参照してください。

機能	機能番号	設定内容	設定値
マイブライベート着信	72	使用しない	0
		使用する	1
お出かけ設定	73	おやすみモード	1
		電話着信転送モード	2
		ボイスワープ転送モード	3
		フラッシュモード	4
ボイスワープ転送モード	74	無条件転送	1
		無応答時転送	2
		話し中時転送	3
		無応答または話し中時転送	4

機能	機能番号	設定内容	設定値
#発信	75	発信しない	0
		#で発信する	1
		# #で発信する	2
i・ナンバー	76	使用しない	0
		使用する	1

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
着信転送 ⁴⁾	27	着信転送	1	転送トーク	なし・なし	0
					あり・なし	1
					なし・あり	2
					あり・あり	3
		疑似着信転送	2		-	
		電話番号着信転送	3		-	
着信番号	80~87	電話番号	0~9	内線指定番号 ⁵⁾	内線指定番号	0~9

- 4) 「着信転送先アドレス」「着信転送元アドレス・サブアドレス」もあわせて設定してください。
- 5) アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時に設定します。(通常は設定する必要はありません。)

全アナログポート共通設定（2）

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加設定	設定値
マイプライベート着信用電話帳 1)	100 ~129	アドレス（32桁）、サブアドレス（19桁） P：ヒツウチ C：コウシュウデンワ O：ヒョウジケンガイ	0~9 *01 *02 *03	アナログAポート着信	1
				アナログBポート着信	2
				無線Aポート ~ 無線Fポート	4 ~ 9
				ページ切替	0
識別リング	200 ~229	アドレス（32桁）、サブアドレス（19桁） 2)	0~9	-	
セキュリティ+選択キヤッチホン	300 ~329	アドレス（32桁）、サブアドレス（19桁） 2)	0~9	-	
i・ナンバー情報の電話番号	901	i・ナンバー情報1電話番号の参照/設定	0~9	内線指定番号	0~9
	902	i・ナンバー情報2電話番号の参照/設定			
ボイスワープ番号設定 3)	910	停止番号既存値参照/設定	0~9	-	
	911	無条件番号既存値参照/設定			
	912	無応答番号既存値参照/設定			
	913	話し中番号既存値参照/設定			
	914	無応答+話し中番号既存値参照/設定			
	919	契約者番号参照/設定			

- 1) マイプライベート着信を「使用する」に設定した場合に設定します。
- 2) サブアドレスを使用するときは、アドレスを設定したあと [#]* を押してからサブアドレスを設定します。通常はサブアドレスの設定は必要ありません。
- 3) 機能番号910~914の番号設定は、INSネット64の付加サービス「INSボイスワープ」で変更された場合に設定します。通常は設定しません。

3-2 . その他の設定

設定を初期値にもどす

Aterm に設定した内容をすべて消去し、購入時の状態に戻します。

設定

- 1 電話機の受話器を上げます。
- 2 * * 9 8 を押します。
- 3 * を押します。
- 4 受話器を置きます。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

シヨキカシマス



Aterm 前面のボタンで操作することもできます。(P.277)

接続してあるすべての電話機から操作できます。

通信中に実行すると、すべての通信が切断されます。

PHS の機種や電波の状況により、操作実行後 30 秒 ~ 1 分間は PHS が使えないことがあります。

液晶ディスプレイのバックライトを設定する

Atermの液晶ディスプレイは、バックライトによって点灯表示します。(停電時は点灯しません。)初期値では、発信中と着信中にバックライトが点灯しますが、常時点灯または点灯しないように設定することができます。

AUTOモード(初期設定)

発信中と着信中に点灯し、それ以外のときは消灯しています。

点灯モード

Atermの電源がONの間、点灯します。

消灯モード

バックライトは点灯しません。

AUTO + データ通信中点灯モード

AUTOモードでの点灯に加え、データ通信中も点灯します。

AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

AUTOモードでの点灯に加え、Bチャンネル使用中も点灯します。

設定

① 電話機の受話器を上げます。

② 次のように押します。

* * 8 0 2 AUTOモード

* * 8 0 1 点灯モード

* * 8 0 0 消灯モード

* * 8 0 3 AUTO + データ通信中点灯モード

* * 8 0 4 AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

③ 受話器を置きます。



停電モード中はいずれも点灯しません。
接続してあるすべての電話機から操作できます。

迷惑電話に登録する

いたずら電話などを迷惑電話として登録し、着信を拒否することができます。

設定

① 迷惑電話を受けたら、いったん受話器を置きます。

② 受話器を上げます。

③ * * 5 2 を押します。
相手の電話番号が表示されます。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

メイワクテ* ンワトウロク
0 3 X X X X X X X X

④ 1 を押します。

0 3 X X X X X X X X
キヨヒシマス

電話番号を通知してこない着信(P: ヒツウチ、C: コウシュウデンワ、O: ヒョウジケンガイ)も迷惑電話に登録することができます。この場合「P: ヒツウチキヨヒシマスか?」と確認表示されますので、# を押します。

⑤ # を押します。

セツテイシマシタ

⑥ 受話器を置きます。



迷惑電話防止機能を利用するには、INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。(P.129)

電話番号を通知してこない着信を迷惑電話に登録すると、電話番号を通知してこない電話はすべて受けられなくなりますのでご注意ください。

Aterm のディスプレイで情報を見る

アナログポートに接続した電話機を操作し、累積料金を表示することができます。

設定

① 電話機の受話器を上げます。

② * * 【下記】を押します。

① アナログポート

⑦ 無線ポート

③ * を押します。

④ 設定するポートを指定します。

④ アナログポート

① 無線ポート

⑤ * ⑦ ① を押します。

⑥ * を押します。

データポートの累積料金が表示されます。

⑦ * を押して表示するポートを切り替えます。

* を押すごとに次のように切り替わります。

アナログポートの設定のとき

「ルイセキ データ」(データポート) 「ルイセキ アナログ A」(アナログ A ポート) 「ルイセキ アナログ B」(アナログ B ポート)

無線ポートの設定のとき

「ルイセキ PHS-A」(無線 A ポート) 「ルイセキ PHS-B」(無線 B ポート)

… 「ルイセキ PHS-F」(無線 F ポート)

累積料金を 0 円にするときは、① を押します。すべてのポートの累積料金が 0 円になります。

⑧ # を押します。

設定ポート選択にもどります。

⑨ # を押します。

⑩ 受話器を置きます。

[Aterm 液晶ディスプレイ]

キノウセツテイ

セツテイポ ートセンタク

キヨウツウ セツテイ 1

ルイセキリョウキン

ルイセキ デ ータ
1 5 6 0 0 円

セツテイポ ートセンタク

セツテイシマシタ